

第七十四回 帝國議會衆議院 人事調停法案委員會議錄(速記)第十八回

第七十四回 帝國議會衆議院

# 人事調停法案委員會議錄(速記)第十八回

高橋 義次君	一松 定吉君	補闕トシテ高橋義次君ヲ議長ニ於テ選定セ リ
斎藤 直橘君	小畠虎之助君	出辯護士法中改正法律案(高橋義次君外二名提 出)辯護士法中改正法律案(高橋義次君外二名提 出)
山本 条吉君	庄司 一郎君	辯護士法中改正法律案(服部英明君外二名提 出)
濱田 國松君	山本 芳治君	辯護士法中改正法律案(中野治介君外二名提 出)
石坂 繁君	長谷 長次君	辯護士法中改正法律案(高橋義次君外六名提 出)
佐竹 晴記君	賤男君外二名提出)	計理士法中改正法律案(牧野重次郎君外三名提 出)
理事古島 義英君	賤男君外二名提出)	検査計理士法案(中野治介君外二名提 出)
理事江原 三郎君	理事伊藤 五郎君	(森田重次郎君外三名提 出)裁判所構成法中 改正法律案(岡本實太郎君外十二名提 出)
理事江原 三郎君	嗣朝君	(俵孫一君外十七名提 出)刑事訴訟法中改正法律案
三月十六日委員則元卯太郎君辭任ニ付其ノ		

法律案（堀切善兵衛君外二十四名提出）刑事訴訟法中改正法律案（石坂繁君外一名提出）  
 刑事訴訟法中改正法律案（中村高一君外一  
 名提出）競争入札ノ取締等ニ關スル法律案  
 （福田闘次郎君提出）ノ審査ヲ本委員ニ付託  
 セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 中井 一夫君	内務省警保局長 安藤狂四郎君
司法省民事局長 大森 洪太君	司法書記官 齋藤 直一君
司法省刑事局長 松阪 廣政君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
非訟事件手續法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）	裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）
裁判所構成法中改正法律案（儀孫一君外十七名提出）	刑事訴訟法中改正法律案（儀孫一君外十 七名提出）
刑事訴訟法中改正法律案（堀切善兵衛君 外二十四名提出）	刑事訴訟法中改正法律案（石坂繁君外一 名提出）
刑事訴訟法中改正法律案（中村高一君外一 名提出）	第百二十六條以下ニナツテ居リマス、此ノ

○牧野委員長 只今ヨリ會議ヲ開キマス、  
 非訟事件手續法中改正法律案ノ審議ヲ致シ  
 マス、該法案ニ付テ改メテ政府委員ノ御説  
 明ヲ伺ヒマス

○大森政府委員 非訟事件手續法中改正法  
 律案ニ付キマシテ、敷衍的御説明ヲ申上ゲ  
 タイト存ズルノデアリマス、前回申述ベマ  
 シタ通リニ、此ノ法案ハ專ラ商法中改正法  
 律ノ施行ニ伴ヒマシテ、必要ナル改正ヲ加  
 ヘタモノデアリマス、申上ゲルマデモナク  
 昨年御協賛ヲ得マシタ商法中改正法律ハ洵  
 ニ割期的ノ大法典、デアリマシテ、此ノ大法  
 典ヲ施行致シマスニ當リマシテハ種々ノ法  
 律ヲ改正スル必要ガアリマシテ、非訟事件  
 手續法中ニ改正ヲ試ミマシタノモ其ノ一端  
 デアリマス、御承知ノ通リニ商法中改正法  
 繢ガ非常ニ殖エタノデアリマス、之ニ對應  
 致シマシテ、此ノ手續法中ニ相當重要ナル  
 改正ヲ必要トスルコトニ相成ツタノデアリ  
 マス

先づ目次ヲ御一覽願ヒタイノデアリマス、  
 非訟事件手續法中ノ第三編ハ商事非訟事件  
 ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ第一章ガ  
 會社及ビ競賣ニ關スル事件デアリマシテ、  
 リマス、ナクテ済ンダノデアリマス、併シ

會社及ビ競賣ニ關スル事件ニ於キマシテハ、  
 御承知ノ通リニ會社ノ設立及ビ存立中ノ場  
 合ノ規定ヲ網羅シテ居ルノデアリマシテ、是  
 ハ既ニ在來ノ現行法ニモ規定ガアルノデアリ  
 マスルガ、商法中改正法律ノ中ニ之ニ關スル  
 部分ガ大變殖エマシタ結果、新ニ種々ノ規  
 定ヲ増加スル必要ガ生ジマシタシ、在來ノ  
 條文等ヲ新規定ニ應ジテ改メル必要モ生ジ  
 タノデアリマス、即チ第一章ハ在來ノ規定  
 ヲ改正シ又ハ補充致シタノデアリマス、第  
 二章ハ社債ニ關スル事件デアリマシテ、本  
 案ノ第百三十五條ノ十五以下ニ相成ツテ居  
 リマス、御承知ノ通リ現行商法ノ中ニモ社  
 債ニ關スル規定ガアツタノデアリマスルガ、  
 是ハ極メテ貧弱デアリマシテ、今日ノ實際  
 ニ即應シナイモノガ多々アリマス、隨ヒマ  
 シテ商法中改正法律案ニ於キマシテハ社債  
 ニ關スル部分ニ重大ナル改正ヲ加ヘタノデ  
 アリマス、ソレニ應ジマシテヤハリ非訟事  
 件手續法中ニモ社債事件ニ付テノ手續規定  
 ヲ網羅スル必要ガ生ジタノデアリマシテ、  
 此ノ第二章社債ニ關スル事件ハ全ク新設ノ  
 モノデアリマス、即チ現行商法ニハ社債ノ  
 規定ガアリマシタケレドモ、之ニ對應スル  
 非訟事件手續法中ノ規定ハナカツタノデア  
 リマス、ナクテ済ンダノデアリマス、併シ  
 法中改正法律ノ一つノ改正ノ重要眼目デア

リマス、隨テ之ニ對應スル手續規定ヲ茲ニ  
網羅致シタ次第アリマス、第五章ハ商業  
登記ニ關スル規定デアリマシテ、本案ノ第  
百三十九條以下デアリマス、此ノ各部分ニ  
付キマシテモ多少ノ變更ガアリマスガ、主  
トシテ御注意ヲ御願致シマスルノハ第八節  
ノ有限會社ノ規定デアリマス、是ハ本案ノ  
第二百一條ノ四以下ニナツテ居リマス、御  
承知ノ有限會社法ノ制定ニ依リマシテ新ニ  
有限會社ナルモノガ生レマシタカラ、之ニ  
關スル登記ノ手續規定ヲ必要トスルニ至ツ  
タノデアリマシテ、此ノ必要ナル登記手續  
ニ關スル規定ヲ此ノ第八節ニ網羅致シタ次  
第デアリマス、右申上ゲマシタ通リニ、本  
案ハ專ラ商法中改正法律及ビ有限會社法ノ  
施行ニ伴フ必要ナル手續規定ヲ網羅シタモ  
ノデアリマシテ、其ノ趣旨以外ニ何等內容  
上ノ變更ハナイノデアリマス、唯一ツ、直  
接商法中改正法律ニ關係ハアリマセヌケレ  
ドモ、此ノ際内容的ニ一ツノ變更ヲ加ヘタ  
モノガアルノデアリマス、ソレハ本案ノ最  
後ノ規定デアリマシテ、第二百八條ノ二デ  
アリマス、第二百八條ノ二ヲ見マスルト、  
「裁判所ハ相當ト認ムルトキハ當事者ノ陳述  
ヲ聽カズシテ、過料ノ裁判ヲ爲スコトヲ得」  
是ガ第一項デアリマス、第二項ハ「當事者及

ヒ檢事ハ前項ノ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨ  
リ一週間内ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得前  
項ノ裁判ハ異議ノ申立ニ依リテ其效力ヲ失  
ブ」第三項ハ「異議ノ申立アリタルトキハ裁  
判所ハ當事者ノ陳述ヲ聽キタル上更ニ裁判  
ヲ爲スヘシ」是ガ其ノ全文デアリマシテ、御  
承知ノ通リニ此ノ條文ニ依リマシテ、過料  
ノ裁判ニ付テ、所謂略式手續ノ途ヲ開イタ  
ノデアリマス、略式手續ノ途ヲ開キマシタ  
ケレドモ、ソレニ依リマシテ當事者ノ權益  
ヲ害シテハナリマセヌカラ、一方簡易手續  
ノ途ヲ開キマスルト同時ニ、當事者ノ權益  
ヲ尊重スルノ途ヲ茲ニ加ヘタノデアリマス、  
實際ニ付テ既ニ御熟知ノ通リニ、是マデ過  
料ノ裁判ヲ致シマスノニハ、法規上必ず當  
事者ノ陳述ヲ聽カナケレバナラナカツタノデ  
アリマス、デアリマスルカラ、如何ニ微細  
ナ事件デアリマシテモ、必ズ當事者ヲ呼出  
シテ居リマシタ、隨ヒマシテ會社デアリマ  
スト、其ノ社長ナリ或ハ總裁ナリ、サウ云  
ツタ人ヲ必ズ呼出シタノデアリマス、ソレ  
ガ社長ナリ總裁ナリ呼出シヲ受ケル人  
ニ取リマシテハ、洵ニ煩ニ堪ヘナカツタノ  
デアリマス、其ノ苦情ガ是マデ隨分多ク吾  
吾ノ方ニ向ケラレテ居ツタノデアリマス、  
デアリマスカラ、裁判所ガ例ヘバ事件ガ輕  
微デアルト思ヒマスナラバ、當事者ノ陳述  
ヲ聽カナイデ、即チ簡易略式ニ過料ノ言渡  
シヲ致シマス、サウシテ其ノ裁判ヲ通達致  
スノデアリマス、ソレニ若シ當事者ナリ檢  
査ガ不服ガアリマスナラバ、一週間内ニ異議  
ノ申立ヲスルコトガ出來ルノデアリマシテ、  
若シ異議ノ申立ガアリマスナラバ、異議ノ  
申立ノアリマシタ簡易ナ裁判ハソコデ全ク  
ノ過料ノ裁判ニ付テ略式手續ノ途ヲ開キマ  
シタコトハ、相當時宜ニ適スルモノデハナイ  
テ當事者ノ陳述ヲ聽イテ正式ノ裁判手續ニ  
依ツテ裁判ヲスル、斯様ニ致シタノデアリ  
マス、只今モ申述ベマシタ通リニ、此ノ過  
料ノ裁判ニ付テ常ニ社長ナリ總裁ナリガ呼  
出サレルト云フ此ノ煩ハシサノ非難ニ付キ  
マシテハ、屢々私共之ヲ耳ニ致シテ居ツタノ  
デアリマシテ、而モ商法中改正法律ニ於キ  
マシテハ、過料ニ當ル事件ガ大分殖エマシ  
タカラ、其ノ法案ノ審議ノ際ニ商法中改正  
法律ヲ施行スルナラバ、過料等ノ裁判ニ付  
テハ必ズ略式手續ノ途ヲ開カウト云フコト  
ヲ話合ツテ居リマシタ、其ノ話合ニ從ツテ  
テハ必ズ略式手續ヲ加ヘタノデアリマシテ、  
此ノ略式ノ手續ヲ加ヘタノデアリマシテ、  
テハ必ズ略式手續ノ途ヲ開カウト存ジ  
テ過料ヲ定メマスナラバ、何時モ此ノ第二百  
六條以下ノ條文ヲ準用シナケレバナラナカ  
ツタノデアリマス、其ノ煩ヲ避ケマスガ爲  
アリマス、デアリマスカラ他ノ總テノ法律ニ於  
テ過料ヲ定メマスナラバ、何時モ此ノ第二百  
六條以下ノ條文ヲ準用シナケレバナラナカ  
ツタノデアリマス、其ノ煩ヲ避ケマスガ爲  
アリマスカラ、裁判所ガ例ヘバ事件ガ輕  
微ナル登記手續ノ違反ナリ解怠ナ

微デアルト思ヒマスナラバ、當事者ノ陳述  
ヲ聽カナイデ、即チ簡易略式ニ過料ノ言渡  
シヲ致シマス、サウシテ其ノ裁判ヲ通達致  
スノデアリマス、ソレニ若シ當事者ナリ檢  
査ガ不服ガアリマスナラバ、一週間内ニ異議  
ノ申立ヲスルコトガ出來ルノデアリマシテ、  
該係ノ社員ガ免黜サレルト云フヤウナコト  
ノ申立ヲスルコトガ出來ルノデアリマシテ、  
ガアツタサウデアリマス、旁以チマンテ此  
ノ過料ノ裁判ニ付テ略式手續ノ途ヲ開キマ  
シタコトハ、相當時宜ニ適スルモノデハナイ  
カト存ジテ居ルノデアリマス、ソレカラソレニ  
奉聯致シマシテ、直グ前ノ條文、即チ第二  
百六條デアリマスガ、是モ商法中改正法律ノ  
施行ニ直接ノ關係ハナイノデアリマスガ、法  
規整備ノ必要上之ヲ改メタノデアリマス、  
御承知ノ通リニ在來ノ第二百六條ニ依リマ  
スルト、民商法ニ基ク過料事件ニ付テノ規  
範ダケデアツタノデアリマス、過料ニ付テノ管  
轄ヲ定メタモノデアリマスガ、是ハ民商法開  
係ノ過料ノミニ付テ規定ヲ致シテ居ルノデ  
アリマス、デアリマスカラ他ノ總テノ法律ニ於  
テ過料ヲ定メマスナラバ、何時モ此ノ第二百  
六條以下ノ條文ヲ準用シナケレバナラナカ  
ツタノデアリマス、其ノ煩ヲ避ケマスガ爲  
アリマスカラ、裁判所ガ例ヘバ事件ガ輕  
微ナル登記手續ノ違反ナリ解怠ナ

リニ付キマシテ過料ノ裁判ヲ受ケル、之ニ  
付テ會社ハ固ヨリ異存ハナイノデアリマス  
ケレドモ、ソレガ爲ニ社長ナリ總裁ナリガ  
呼出サレル、是ハ大變迷惑ナ話デモアリ、  
又左様ナ呼出ヲ受ケルコト自身ノ爲ニ、當  
事ガ不服ガアリマスナラバ、一週間内ニ異議  
ノ申立ヲスルコトガ出来ルノデアリマシテ、  
若シ異議ノ申立ガアリマスナラバ、異議ノ  
申立ノアリマシタ簡易ナ裁判ハソコデ全ク  
ノ過料ノ裁判ニ付テ略式手續ノ途ヲ開キマ  
シタコトハ、相當時宜ニ適スルモノデハナイ  
カト存ジテ居ルノデアリマス、ソレカラソレニ  
奉聯致シマシテ、直グ前ノ條文、即チ第二  
百六條デアリマスガ、是モ商法中改正法律ノ  
施行ニ直接ノ關係ハナイノデアリマスガ、法  
規整備ノ必要上之ヲ改メタノデアリマス、  
御承知ノ通リニ在來ノ第二百六條ニ依リマ  
スルト、民商法ニ基ク過料事件ニ付テノ規  
範ダケデアツタノデアリマス、過料ニ付テノ管  
轄ヲ定メタモノデアリマスガ、是ハ民商法開  
係ノ過料ノミニ付テ規定ヲ致シテ居ルノデ  
アリマス、デアリマスカラ他ノ總テノ法律ニ於  
テ過料ヲ定メマスナラバ、何時モ此ノ第二百  
六條以下ノ條文ヲ準用シナケレバナラナカ  
ツタノデアリマス、其ノ煩ヲ避ケマスガ爲  
アリマスカラ、裁判所ガ例ヘバ事件ガ輕  
微ナル登記手續ノ違反ナリ解怠ナ

フコトニ致シマシテ敢テ民商法上ノ過料ダ  
ケニ止マラズ、凡ソ一般的過料ニ關スル事  
件ノ裁判所ノ管轄ト云フコトニ致シマシタ、  
デアリマスカラ今後他ノ法律デ過料ニ付テ  
ノ事項ヲ定メマシテ、是マデ通リニ常ニ非  
二點ヲ除キマスト、總テ專ラ商法中改正法  
訴事件手續法ノ第一百六條以下ヲ準用スル  
ト云フ煩ガナクナツタノデアリマス、此ノ  
律ノ施行ニ必要ナル手續規定ニ關スルモノ  
デアリマス、サウシテ屢々申述べマス通リニ  
商法中改正法律ハ昭和十五年ノ一月一日カ  
ラ實施スル豫定デアリマス、隨ヒマシテ本  
案モ幸ニ御協賛ヲ得マスナラバ、商法中改  
正法律、有限會社法ト一緒ニ、昭和十五年  
一月一日ヲ期シテ施行致シタイト思ツテ居  
ルノデアリマス

斯ク錯綜致シマシタノハ、非訟事件手續法  
ノ一部改正デアリマシテ、全般的、根本的  
何條ノ十五ト云フヤウニ嵌込マナケレバナ  
ラナカツタノデアリマシテ、其ノ結果條文  
ノ數等カラ申シマスト、大變ヨンガラガツ  
タヤウナ外觀ヲ呈シテ居リマス、又今申上  
ゲマス通リニ、一部改正デアリマスカラ、  
條文ノ書キ方モ在來ノ書キ方ヲ踏襲シナケ  
レバナラナカツタモノデアリマスカラ、ソ  
コデ、相當ギコチナイ痕跡モ残シテ居ルノ  
デアリマス、ソレ等ノ形式上ノ整備ハ、後  
ニ非訟事件手續法ヲ根本的ニ改正スル必要  
ガ生ジマシタナラバ、其ノ時ニハ綺麗ニ致  
シタイト思ヒマスケレドモ、今此ノ案ニ付  
キマシテハ、單ニ一部的ノ改正デアリマス  
カラ、ソコマデ廣汎ニ筆ヲ改メルコトガ出  
來ナカツタノデアリマス、其ノ點宜シク御  
諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、先づ第三十  
七條デアリマスガ、是ハ唯條文ヲ置キ換ヘ  
タダケノ話デアリマス、次ニ第七十一條ノ  
三及ビ第百十六條ニ改正ガアリマスガ、  
ニト云フ文字ノ使ヒ分ケニ付キマシテハ、  
近頃ノ法典ノ書キ方デ申シマスト「竝ニ」ノ  
是ハ御承知ノ通リニ「及ヒ」ト云フ文字ト「竝  
方ガ大分ケデアリマシテ、「及ヒ」ノ方ガ小

居リマス、然ルニ本案ノ改正ヲ致シマス際ニ、「茲ニ」「及ビ」ヲ新シキ方法ニ改メマシタカラ、殘リマスモノ、即チ手ヲ著ケナイモノニ付テモ之ダケハ改正シタ方ガ宜イト云フコトニナリマシタ、單純ナル形式上ノ問題デアリマス、次ニ第百二十六條デアリマスガ、是ハ在來既ニアリマス規定デアリマシテ、御承知ノ通りニ第一章ノ「會社及ヒ競賣ニ關スル事件」ノ管轄ヲ定メタ規定デアリマス、此ノ第百二十六條ニ付キマシテハ、在來引用シテアリマス商法ノ條文ヲ新規定ニ合セマシテ變ヘマシタ他ニ、此ノ會社ノ設立及ビ存立中ノ事項ニ付テ、商法中改正法律デハ種々新シイ事項ガ出來テ參リマシタカラ、ソレ等ヲモ殖ヤシタノデアリマス、即チ在來ノ規定ニ商法中改正法律ノ施行ニ必要ナル補充ヲ致シタ、ソス様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ今一つ此ノ規定デ御諒解ヲ願ツテ置キタイノハ、他ノ規定ヲ準用致シテ居リマスル場合、成タケ其ノ準用ノ條文ヲ明ニ致出来ル限り親切ニ致シタイト思ヒマシテ、シマスル爲ニ、即チ法文ノ書キ方トシテ、準用ノ條文ヲ明ニ書キマシタ、其ノ一例ヲ

申シマスルト、例ヘバ第百三十二條ノニデアリマス、第五頁ニアリマス、即チ商法第何條ト致シマシテ(同法第何條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)斯様ニ準用ノ條文ヲ明ニ示シテ、謂ハバ親切ナル記載方法ヲ選シダノデアリマス、然ルニ此ノ第百二十六條ニ至リマスト、準用條文ヲ一々書上ダマスルト、是コソ煩ニ堪ヘナインデアリマシテ、此ノ場合ニ於テノミ唯準用規定ト云フコトニシテ御勘辨ヲ願ツタノデアリマス、即チ管轄ヲ定ムル場合ノ規定ダケハ準用規定ヲ此處ニ示スコトヲ避ケマシテ、唯其ノ準用規定ト云フ工合ニシテ置キマシタ、此ノ第百二十六條ノ第一項ノ第四行目ニ「其準用規定」下云フ文字ガアリマス、同ジク第六行目ニモ「其準用規定」ト云フ文字ガアリマス、同ジク第九行目モ同様デアリマス、斯様ナ略式ノ記載ヲ致シマシタノハ、若シ正式ニ一々書キマスルト、其ノ煩ニ堪ヘナカツタガ爲デアリマス、管轄ノ規定ヲ各補充ヲ致シマシタ、即チ種々新シイ事項ヲ附加ヘタノデアリマス、例ヘ申シマスルト、第百三十二條ノニデアリマス、是ハ御承知ノ商法中改正法律デ新ニ出来マシタ株金ノ拂込ヲ取扱ヒマスル銀行ナリ信託會社ナドノ變更ソレ等ニ付テノ手續規定デアリマス、次ノ第百三十二條

ノ三ハ、株式ヲ競賣スル以外ニ、裁判所ノ指  
定ニ依ツテ簡易ノ方法ガ選ベレルト云フ商  
法ノ規定ニ應ジタヤハリソレニ付テノ許可  
ノ申請ニ關スル規定デアリマス、第百三十  
二條ノ四ハ、取締役缺員ノ場合ノ職務代行  
者ノ選任ニ關スル手續規定デアリマシテ、  
ヤハリ商法中改正法律ニ定メラレタ新規定  
ニ應ズルモノデアリマス、次ニ第百三十三  
條ノ二ハ、資本増加ノ無效ノ場合ノ善後措  
置ニ關スル手續規定デアリマス、是亦商法  
中改正法律ノ新規定ニ對應スルモノデアリ  
マス、ソレカラ又第百三十五條ノ七デアリ  
マスルガ、御承知ノ通り、商法中改正法律  
ニ依リマシテ、合併無効ノ判決ト云フモノ  
ガ新ニ規定サレマシタノデ、之ニ對應致シ  
マシテ其ノ手續規定ヲ新ニ作ツタノデアリ  
マス、ソレカラ第百三十五條ノ十、是亦商  
法中改正法律ノ新規定ニ對應スルモノデア  
リマシテ、合名會社ノ社員ヲ退社セシムル  
點ニ付テノ規定デアリマス、次ニ第百三十  
五條ノ十一、是ハ有限會社ニ付テノ規定デ  
アリマシテ、新設規定デアリマスルコトハ  
等ノ新規定ニ應ジマスル手續ヲ網羅シタ  
ノガ一ツ、ソレカラ在來ノ規定ガ條數ガ變  
固ヨリ申スマデモナイノデアリマス、是  
リマシタカラ、ソレヲ整理致シマシタノガ

第一、是等ノ改正ナリ補充ヲ含ヌマシテ、  
第一章ノ規定ガ出來タノデアリマス、次ニ  
第二章社債ニ關スル事件デアリマスルガ、  
規定デアリマス、第百三十五條ノ十五ハ管轄ニ  
關スル規定デアリマシテ、是等ノ諸々ノ事項ニ付  
キマシテハ、本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄  
デアルト云フコトヲ明ニ致シマシタ、茲ニ引用  
ニナツテ居リマスル商法中改正法律ノ規定ハ、  
社債ニ付テノ手續規定ノ起リマスル總テノ事  
項ヲ網羅シタノデアリマスルガ、其ノ最モ  
重要ナルモノハ商法ノ第三百十九條即チ、  
社債權者集會ニ於テ如何ナル事項ヲ決議ス  
ルカ、其ノ事項ニ付テノ認可ノ規定デアリ  
マス、ソレカラ第百三十五條ノ十六以下數  
條ハ第百三十五條ノ十五ニ現ハレマスル諸  
諸ノ事項ニ付テノ手續規定ヲ茲ニ網羅致シ  
タノデアリマス

次ニ第三章ノ會社ノ整理ニ關スル事件デ  
アリマスルガ、是亦全ク新設ノ規定デアリ  
マス、即チ第百三十五條ノ二十四ハ、管轄  
ヲ定メタモノデアリマシテ、事件ノ重要性  
ニ鑑ミマシテ、本店所在地ノ地方裁判所ノ  
管轄ト致シマシタ、第百三十五條ノ二十五  
ハ、是ハ相當有力ナル規定デアリマシテ、  
會社ノ整理ハ裁判所ノ監督ニ屬スルコトヲ

明ニ致シマシタ、此ノ點ハ既ニ商法中改ニ  
法律案ノ審議ノ際ニ確定シテ居ツタ事項アリマシテ、同案ノ御審議ヲ願ヒマスルニモ申述ベテ置イタノデアリマスルガ、規定ト致シマシテハ手續法タル非訟事件手續法中ニ之ヲ規定致シタノデアリマス、一ツ武ビマシテ第百三十五條ノ二十七及ビ同一二八ハ費用ノ豫納ニ關スル規定デアリマシテ同趣旨ノ規定ガ、破産法ノ第百三十九條アリマス、ソレ等ヲ參酌致シマシテ規定致シタノデアリマス、又第百三十五條ノ三一ニマス、次ニ第百三十五條ノ三十三ハ右裁判ニ對スル不服ノ申立ニ關シテ規定ヲマシタノデアリマス、ソレカラ飛ビマシテ等百三十五條ノ四十一デアリマスガ、是ハ社會整理ノ命令ニ伴ヒマシテ生ジマスル檢査命令ニ付テノ手續規定デアリマス、次ノ百三十五條ノ四十二ハ整理命令ニ付テノ規定デアリマス、次ノ第百三十五條ノ四十二及ビ以下數條ハ、御承知ノ商法中改正法律ノ第百三十五條ノ四十六ハ、株主表ガ強制株金拂込ノ簡易方法デアリマシテ、所謂株主表確定手續ニ關スル諸規定デアリマス、次ニ於テ御審議ヲ願ヒマシタ整理中ニ於ケル

正除定期法飛行、モノニアリマス、次ノ第百三十五條ノ四十  
七ハ、重役ノ解任命令ニ付テノ規定デアリ  
ル手續規定デアリマス、ソレカラ第百三十五  
條ノ五十三ハ、監督命令ニ關スル手續規定  
デアリマスルシ、同ジク第百三十五條ノ五  
十四ハ管理命令ニ關スル手續規定デアリマ  
ス、ソレカラ第百三十五條ノ五十五ハ、終  
結決定ノアリシ場合ノ跡始末ノ規定デアリ  
マス、ソレカラ數條飛ビマシテ、第百三十五  
條ノ六十八此ノ整理カラ流レテ出ル和議ナ  
リ、又ハ破産ナリノ管轄ヲ定メタ規定デア  
リマシテ、是ハ地方裁判所ノ管轄ト致シマ  
シタ、即チ會社ノ整理ハ固ヨリ重要手續デ  
アリマスルカラ、之ヲ地方裁判所ノ管轄ニ  
致シタノデアマリス、其ノ事ハ既ニ第百三  
十五條ノ二十四デ申上ゲマシタ、サウシテ  
此ノ整理ヲヤツテ居リマスル間ニ和議ニナ  
ルコトモアリマスルシ、又已ムヲ得ザル場  
合、即チ最惡ノ場合ニハ破産ノ宣告ヲシナ  
ケレバナラナイコトニナツテ居リマス、斯  
様ナ場合モ其ノ整理ヲ致シマシタ當該地方  
裁判所ニ於テ和議ナリ、破産ヲヤラシタ方  
ガ適當デアリマスルカラ、其ノ管轄ヲ地方

裁判所ト致シマシタ、後ニ御審議ヲ願ヒマスル通り、此ノ點ハ裁判所構成法ヲモ改ムル必要ヲ生ジタノデアリマシテ、其ノ事ハ裁判所構成法中改正法律案ノ御審議ヲ願ヒマスル際ニ申述ベタイト存ズル次第アリマス、以上ハ大體ニ於テ會社ノ整理ニ關スル事件ニ付テノ御説明デアリマシタ

ソレカラ第四章ノ會社ノ清算ニ關スル件デアリマスルガ、ソレハ第百三十六條カラ始マルノデアリマス、第百三十六條ニ管轄ノコトヲ定メタノデアリマス、第一項ハ合名會社合資會社ノ清算事件ハ在來通り區裁判所デ管轄スルコトニ致シマシテ、此ノ點ハ何等ノ變更ヲ加ヘテ居ナイノデアリマス、然ルニ第二項ニ於キマシテ、株式會社株式合資會社有限會社ノ清算、是ハ地方裁判所ノ管轄ニ致シマシタ、株式會社ニ於キマスル清算、特ニ其ノ、特別清算ハ事重要デアリマスルカラ、是ハドウシテモ地方法院ノ管轄ニシナケレバナリマセヌ、其ノ權衡カラ致シマシテ、假令特別清算デナクトモ、即チ一般ノ清算デアリマシテモ凡ソ清算ナラバ是ハドウシテモ地方裁判所ノ管轄ニ改メナケレバナリマセヌ、又ソレトノ權衡ニ應ジマシテ株式合資會社、有限公司、此ノ二ツニ付キマシテモ清算ハ地

方裁判所ノ管轄ニスルコトヲ相當ト認メマシテ、即チ第二項ニソレヲ明ニ致シタ所以アリマス、第百三十六條ノ二ハ裁判所ノ監督ニ關スルコトヲ明ニ致シタノデアリマシテ、只今整理ニ付テ申述ベタ同趣旨デアリマス、ソレカラ第百三十八條ノ八以下デアリマス、是ハ先程申述マシタ特別清算ニ關スル手續規定デアリマシテ、以下十數條ハ全ク新設ノ規定デアリマス、次ニ第五章ノ商業登記デアリマスルガ、商業登記ニ付キマシテハ商法中改正法律ノ新規定ニ基シタ規定モ相當アルノデアリマス、例ヘバ第百六十一條ノ二デアリマス、商法第二十六條第二項ノ登記ト申シマスルノハ、御承知ノ商賣ノ讓渡、即チ營業讓渡ノアリマシタ場合、讓受人ガ讓渡人ノ債務支拂ノ責ニ任ざル旨ノ登記デアリマシテ、斯様ナモノハ新シク認スマレタ登記デアリマシテ、サウ言ツタ種類ノモノヲ此處ニ種々掲ゲタノデアリマスガ、併シ一團トシテ新設ノ規定ニナリマスルノハ先程申上ゲマシタ第八節有限會社ノ登記ニ付テデアリマス、即チ第百三十九條以下ノ改正ガ有限會社ノ登記ニナツテ居リマス、以上甚ダ蕪雜デアリマスガ大體ノ御説明ヲ申述タノデアリマス、

尙ホ最後ニ一點御訛ヲ致シテ置キタイノシテ、即チ第一項ニソレヲ明ニ致シタ所以アリマス、第百三十五條ノ五十五乃至第百三十五條ノ五十七、第百三十五條ノ五十八トシテアリマシタ、所ガ上ガ乃至デ續イテ居ルノデアリマスルカラ、第百三十五條ノ五十七ト云フノハ全ク要ラナイノデアリマシテ、第百三十五條ノ五十五乃至第百三十五條ノ五十八トスレバ宜イノデアリマス、是ハ實ハ第百三十五條ノ五十七ノ中ニ第一項乃至第三項アリマシテ、其ノ或ル項ニ付テハ之ヲ規定スル必要ハナイト云フ頭デ第何項々々ト云フモノヲ掲ゲテアツタノデアリマス、所ガ此ノ第何項々々ト區別ナシニ、全部ヲ準用スルコトガ宜イトナツテ第何項ト云フ文字ヲ削リマシタ、削ル際ニ此ノ乃至ノ中ニ打チ込ンデシマヘバ宜カツタノデアリマスガ、是ガ粗漏デ吾々氣ガ付カナカツタノデアリマス、デアリマスルカラ第百三十八條ノ十五ハ是ハ單ニ形式上ノ問題デアリマス、次ノ第二百一條ノ二甲ノ修正デアリマスルガ、是ハ實質ニ影響スルノデアリマシテ、先程申述ベマシタ株式合資會社ニ關スル部分デアリマス、全ク此ノ粗漏ニ付テハ慚愧ニ存ズルノデアリマス、是ハ登記囑託ニ關スル規定デアリマシテ、此ノ事項ノ中三ツダケ拔カシテ居ツタノデアリマス、第

百八十條ノ一ト申シマスルノハ商法中改  
法律ノ合名會社ノ社員ノ除名ナリ、又ハ其  
ノ社員ノ業務執行權又ハ會社代表權ノ剝奪  
ニ關スル規定デアリマシテ、左様ナ場合ニ  
ハ登記ヲ囑託スルト云フコトニ相成ルノデ  
アリマス、ソレガヤハリ株式合資會社ノ  
無限責任社員ニ準用サレマスルカラヤハ  
リ當該規定ヲ株式合資會社ニ於テ準用ス  
ル必要ヲ生ジテ居ルノデアリマス、是ガ  
一つ抜ケマシテ、ソレカラ又第百八  
八條ノ二ノ問題デアリマスルガ、是ハヤハ  
リ商法中改正法律ニ於キマシテ株式會社ノ  
監査役ニ缺員ヲ生ジマシタ場合ニ、職務代  
行者ヲ選任スルト云フコトガ出テ參ツタノ  
デアリマス、左様ナ場合ノ登記囑託ノ規  
定ガヤハリ株式合資會社ニモ準用ニナル  
ノデアリマシテ、ソレガ抜ケテ居リマシ  
タ、ソレカラ第百八十八條ノ三デアリマ  
ス、是ハヤハリ株式會社ノ取締役ニ缺員  
ヲ生ジマシタ場合ニ監査役カラ之ヲ補充ス  
ルコトノ出來ルト云フ其ノ場合、ヤハリ  
登記ヲ必要トスルト云フ規定ガ準用ニナツ  
テ居リマス、ソレガ抜ケテ居リマス、此ノ  
リシコトヲ發見致シタモノデアリマスルカ  
ラ、洵ニ恐縮ニ存ジテ修正ヲ願ツタヤウナ

次第デアリマシテ、諄イヤウデアリマスガ  
洵ニ慚愧ニ存ズルノデアリマス、ケレドモ  
之ヲ發見致シマシタガ爲ニ、詳細ニ屢々検討  
致シマシテ、他ニ漏レノナイコトダケノ確  
信ヲ得タノデアリマス、大變ゴタ／＼シタ  
條文デアリマシテ、御審議ヲ願ヒマスノモ  
甚ダ恐縮デアリマス、勢ヒ説明モ極メテ蕪  
雜デアリマシテ、甚ダ慚愧ニ存ズル次第デ  
アリマス、御質問ガアリマスレバ何ナリト  
モ御答シタイト存ズルノデアリマス  
○牧野委員長 御諮リヲ致シマス、此ノ次  
ニ同ジク商法改正ニ伴フ裁判所構成法中改  
正法律案ガアルノデスガ、同時ニ御説明ヲ  
願ツテ、質問ガアレバ兩案ヲ一括シテ御質  
疑ヲ願フコトニシタラドウデセウカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

賛ヲ得マシタ商法中改正法律ニ依リマシテ、株式會社ノ整理又ハ特別清算ノ制度ガ設ケラレ、右ノ手續カラ破産手續へ移ツテ行ク場合ガ認メラレタノデアリマスガ、是等整理及ビ特別清算ノ手續ハ會社本店ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ガ取扱フコトニナツタノデアリマス、隨テ此ノ手續カラ破産ニ移リマシタ場合ニ、其ノ破産手續ハ整理又ハ特別清算ノ開始ヲ命ジマシタ當該地方裁判所ヲシテ之ニ當ラシメルコトガ最モ適當アリマス、是等管轄ノ事ハ今回提案ノ非訟事件手續法中改正法律案中ニ其ノ旨ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、仍テ現行裁判所構成法ニ一ツノ例外ヲ認メル必要ガアリマスノデ、第十四條ノ二ヲ改メマシテ「區裁判所ハ他ノ法律ニ特別ノ規定アルモノヲ除ク外破産事件ニ付裁判權ヲ有ス」ト致サントスルノガ即チ本改正案デゴザイマス、尙ホ詳細ノコトハ御質問ニ應ジ政府委員ヨリ御説明申上ゲサセマスガ、何卒十分ニ御審査下サレ、此ノ法案ノ通過ニ御盡力アランコトヲ切望致ス次第アリマス

正法律案ニ付テハ濱野參與官ヨリ其ノ提案理由ヲ承ツタノデアリマスガ、此ノ兩案ハ貴族院ヲ經由シテ衆議院ニ送付セラレタ案デアリマス、私共ハ此ノ案ニ對シテハ別ニ異論モナイノデアリマシテ、本會期中ニ成立スルコトハ一點疑ヲ容ルベキ餘地ハアリマセヌシ、吾々委員トシテモ多少ノ餘裕ヲ頂戴シテ質問ヲ致シテ見タイト思ヒマスカラ、此ノ兩案ニ對スル質疑ハ今日ハ此ノ程度ニ止メ、議員提出法律案ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、議員提出法律案ハ御承知ノ如ク十件ヲ超ユルモノガ當委員會ニ繫屬セラレテ居リマスガ、其ノ中デモ特ニ緩急ヲ見計ツテ審議ノ必要ガアラウト思フノデアリマス、俵孫一君外十七名、堀切善兵衛君外二十四名、其ノ他各政黨政派カラ提案致シテ居リマス刑事訴訟法中改正法律案、即チ犯罪搜査ニ關スル規定ノ中デ行政執行法ノ第一條ニ依ツテ検束シタ者ニ對シテハ、犯罪搜査ヲ爲スコトガ出來ナイト云フ規定、是ハ每議會ニ於テ常ニ問題トナツテ居ル彼ノ行政執行法第一條濫用ニ基ク人權蹂躪防止ニ關スル規定デアリマシテ、人權蹂躪防止ニ付キマシテハ、色々手段方法モゴザイマセウガ、取敢ズ此ノ行政執行法ノ第一條ノ濫用ト云フコトガ一番人權蹂躪ノ素因ヲ成ス

モノデアルト云フコトノ爲ニ、殆ド毎議會ニ行政執行法第一條ノ規定改正ガ出テ居ツタノデアリマスガ、ソレハ常ニ問題ガアリマシテ、衆議院ハ通過シテモ、貴族院ニ於テ是ガ審議未了若クハ否決サレタト云フ歷史ヲ持ツテ居リマス、ソコデ行政執行法ノ第一條ハ此ノ儘ニシテ置キマシテ、一時刑事訴訟法ノ搜查ニ關スル規定ヲ一部改ヌサヘスレバ此ノ行政執行法ノ濫用ハ出來ナイ、人權蹂躪防止ハ出來ルト云フ立場カラ、各政黨政派ヲ超越致シマシテ、同一ノ法案ヲ議員案トシテ提出致シマシテ、ソレガ當委員會ニ付託セラレテ居ルコトハ皆様御承知ノ通リデアリマス、之ニハ議員何人モ反対スル者ハナイト私ハ思フノデゴザイマスカラ、先ヅ此ノ案ニ付テ御審議ヲ願ヒマシテ、出來得ベクンバ本日ノ本會議ノ緊急上程、若クハ手續上ノ都合デ本日本會議ニ上程ガ出来ナイト云フコトデアレバ、近キ將來ノ本會議ニ之ヲ上程シテ、早ク貴族院ニ送リタイ、斯様ニ委員一同ハ熱望致シテ居リマスカラ、ドウカ委員長ニ於カセラレマシテモ吾々委員ノ意ノアル所ヲ諒トセラレマシテ、左様ニ御取計ヒアランコトヲ御願致シマス〇牧野委員長 只今ノ一松君ノ御發議ハ能ク諒承致シマシタ、就テハ非訟事件手續法

シ付テ質問ノアル方ハ今質問ヲ繼續致シテ、出來ルナラバ本日質問ヲ打切ツテ然ル後ニ刑事訴訟法ノ方ニ移リタイト思ヒマス、通告ニ依ツテ質問ヲ許シマス——山本君

○山本(糸)委員 私ハ非訟事件手續法中改正法律案ニ付テ一言御尋シテ置キタイノデアリマス、ソレハ法文ノ内容ニ付テデハアリマセヌ、法文ノ内容ニ付テハ御尋致シマセヌガ、唯此ノ條文ヲズツト初メカラ終ヒマデ見マシタ時ニ如何ニモ煩雜極マツテ何トモ分ラヌ、一々總テヲ擴グ出シマセヌト殆ド分ラナイ、ソレハ要スルニ手續法デアリマスカラ、餘儀ナインデアリマスガ、第百何十條ノ第何項ノ第何號ト云フヤウナコトデハ實ニ煩ニ堪ヘナイノデアリマシテ、是ハ商法ノ改正其ノ他ニ依ツテ已ムヲ得ズ改正サレルノデアリマスガ、若シ是ガ他ノ法文ノ關係上、大體是デ改正スペキ法律ガ一段落ガ著イタ場合ニ此ノ法文ノ整理ヲ致サレマシテ、モウ少シ立法技術ノ點カラ見テ體裁ノ良イ法律ラシイ法律ニ整理シテ戴キイ、是モ一面ニ於テハ法文ノ複雜化ガ原因ヲシテ居ルト私ハ考ヘル、強チ民間ノ者ガ

怠惰ノ爲ニノミ過料制裁ヲ受ケテ居ルトハ  
考ヘラレナイ、即チ法文ノ複雜化、煩雜化ト  
云フコト、延イテハ條文ノ整理ガ思フヤウニ  
完全ニ行ツテ居ナイカラ、其ノ爲ニモ件數  
ガ殖エテ居ルト云フ想像モセラレルノデア  
リマス、左様ナ見地カラ此ノ非訟事件手續  
法ノ煩雜ナル條文ヲ適當ノ時機ニ、即チ他  
ノ法律ノ改正ガ一段落ト云フ見透ガ付イタ  
場合ニ於キマシテハ、之ヲ一ツノ纏ツタ法  
律トシテ整理改正セラレル御意思アリヤ否  
ヤヲ御尋致シマス

スカラソレ等ノモノガ一通リ参リマシテ、  
今御示シニナリマシタヤウニ先ヅ一應ノ改  
正ガ濟ミマシタナラバ、之ヲ最初カラ整理  
ヲ致シマシテ、綺麗ナ法典ニシタイト存ジ  
テ居ル次第デアリマス、全ク私共ノ希望シ  
テ居ル所ヲ今御示シニナツタノデアリマス、  
至極御同感デアルト云フコトヲ申述ベテ置  
ク次第デアリマス

○山本(糸)委員 何卒左様御努力下サイマ  
シテ、完成セラレタ法典トシテ出來上ルヤ  
ウ希望致シマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○大森政府委員 御希望ノ點ハ確ニ諒承致  
シマシタ

○高橋委員 私モ一點御尋シテ置キタイト  
思ヒマス、商法中改正法律案ヲ前提トシテ  
ノ之ニ對蹠的ノ改正デアツテ、之ヲ全面力  
ラ見マスレバ當然ノコトデモアツテ、吾々  
委員トシテハ贊成ヲ致サナケレバナラナイ  
ト考ヘテ居ル一人デアリマス、唯一點ダケ  
御尋シテ置キタイコトハ、二百八條ノ二ノ  
過料裁判ノ問題デアリマス、過料裁判ハ從  
來ノ當事者ノ陳述ヲ聽クト云フ原則ニ對ス  
ル一ツノ大キナ轉廻トモ考ヘラレルノデア  
リマス、陳述ヲ聽カズシテ過料裁判ヲスル  
コトガ出來ルト云フコトニ茲ニ改正セラレ  
ルト云フコトデアリマスガ、其ノ政府ノ御

説明ヲ承リマスト、例へバ總裁トカ社長ト

カ云フヤウナ其ノ會社ノ大者ヲ一々裁判所

ニ引出シテ陳述ヲ聽クト云フコトハ、實情

ノ上カラ見テ非常ニ煩雜デアル、其ノ煩雜

ヲ防止スルト云フ點ニ於テ、淘ニ機宜ヲ得

タ改正デアルト云フヤウニ、此ノ改正ノ要旨

ヲ承ツタノデアリマスガ、考ヘ方ニ依ツ

テハサウシタ總裁、社長等ヲ裁判ニ引出シ

テ迷惑ヲ掛ケル、其ノ迷惑サヲ芟除スル方

法トシテハ、必ズシモ當事者ノ陳述ヲ聽カ

ズシテト云フコトデナシニ、社長、總裁ノ

如キ當事者本人デナクテモ其ノ代理ノ範囲

ヲ擴充スルコトニ依ツテ、其ノ點ノ緩和ガ

十分出來ルト思フ、陳述ヲ聽イテ然ル後ニ

——兎ニ角其ノ過料ト雖モ是ガ一つノ制裁

デアルノデアリマスカラ、當事者ノ陳述ヲ

能ク聽クト云フ機會ヲ與ヘテ、而モ事實上

迷惑ヲ掛ケル、其ノ防止ガ他ノ方法ニ依ツ

テ出來得ルト云フコトデアレバ、サウシタ

ヤウナ改正ノ方法ガ執ラレ得ナカツタノデ

アルカドウカ、若シソレヨリ本改正案ガ優

越的ニ良イモノナンダト云フコトノ政府ノ  
御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○牧野委員長 尚ホ高橋君ノ御質問ニ關聯シテ、當事者ノ書面上ノ陳述ヲ以テ裁判ノ

資料ニシタラドウカト云フコトニ付テノ御

説明ヲ願ヒマス

○大森政府委員 御尤ノ御尋デマリマシテ、

私共モヤハリ同ジヤウナ考ヲ持ツテ居ルノ

デアリマス、高橋委員ノ御尋ニ對シテ先ヅ

御答ヲ致シマスガ、呼出しハ當事者、即チ

會社デアリマスト、其ノ代表者トシテ社長

ナリ、總裁ナリニ對シテ致シマスケレドモ、

此ノ呼出シニ應ジテ出テ參リマスノハ決シ

テ社長ヤ總裁デナケレバナラナイト云フコ

トハナイノデアリマス、支配人デモ社員デ

モ委任ヲ受ケテ來レバ結構デアリマス、唯

社長ナリ總裁ガ呼出シヲ受ケルコト自身ニ

迷惑ヲ蒙ルダラウト思ヒマス、呼出シサヘ

モ止メテ貰ヒタイト云フ希望デアリマシタ

カラ、其ノ希望ニ副ヒマシテ、斯様ナル略

式手續ヲ開イタ譯デゴザイマス、デアリマ

スカラ法律ト致シマシテハ略式ノ手續ガ必

要デアリマスト共ニ、運用ト致シマシテハ

出テ來ル人ニ餘り拘束的ナ制限ヲ設ケナイ

リマスガ、將來モ只今御話ノヤウナ御趣旨

ヲ酌ミマシテ、決シテ迷惑ヲ掛ケナイヤウ

テ此ノ運用ノ外ニヤハリ立法トシテ略式ノ

途ヲ開クコトガ適當ナリト存ジタ次第デア

リマス

尙ホ委員長ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマ

スガ、勿論書面ノ答ハ吾々モ歡迎ヲ致シテ

居ルノデアリマスガ、書面ノ答ラシナイン場

合デモ此ノ略式ノ途ヲ執ルコトガ出來ルト

云フ積リデアリマシテ、從來書面上ノ陳述

ヲモヤハリ陳述ヲ聽イタコトニシテ實際ニ

取扱ツテ居リマス、其ノ以外ニ斯様ナ法律

或法中改正法律案ニ付テハ質問打切ニ御異

議アリマセヌカ

リデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒタイノデ

アリマス

○古島委員員 私ハ此ノ案ニ付テノ質問デハ

アリマセヌガ、先般、十四日ノ委員會ト思

ヒマスガ、人權蹂躪問題ニ付テ御調ヲ御願

シテアリマス、此ノ際其ノ御答辯ヲ御願致

シマス

○牧野委員長 一寸古島君ニ御諮リ致シマ

スガ、此ノ次ニ刑事訴訟法中改正法律案ノ

議事ヲ進行致シマスカラ、人權蹂躪ニ關ス

ル問題ハ總テ刑事訴訟法中改正法律案審議

ノ機會ニ讓ルコトニシテ、非訟事件手續法

中改正法律案外一案ヲ一遍茲デ切上ゲタラ

ドウデスカ

○古島委員員 ソレハ御尤デアリマス、唯司

法省ノ關係ノ方ガ若シ此ノ席ニ居ナイヤウ

ニナルト困ルト思ヒマシタカラ左様ニ申上

ソレカラ内務省ノ政務次官ハ病氣缺席、警

案ノ審議ノ時ニ居ルト云フコトガ確カナラ

バ、ソレデ宜シウゴサイマス、尙ホ其ノ時

ハ内務省ノ方ト兩方居ラレル方ガ都合ガ好

イト思ヒマス

○牧野委員長 ソレデハ御諮リ致シマス、

非訟事件手續法中改正法律案竝ニ裁判所構

成法中改正法律案ニ付テハ質問打切ニ御異

議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 然ラバ質問ハ打切ト致シ

テ、次會ニ討論採決ヲ致スコトニ致シマス

○牧野委員長 次ハ議員提出刑事訴訟法中

改正法律案ノ審議ヲ致シマス、同一ノ案ガ

四件アリマス、即チ俵孫一君外十七名提出

刑事訴訟法中改正法律案、堀切善兵衛君外

二十四名提出同案、石坂繁君外一名提出同

案、中村高一君外一名提出同案、是ハ内容

モ理由モ全ク同一デアリマスカラ、便宜上

委員會ニ於テハ併合シテ審議致シタイト思

ヒマスガ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 ソレカラ一寸申上ゲテ置キ

マスガ、先程御要求ノ司法大臣、内務大臣共ニ

本會議ニ出席致シテ居リマシテ差支ガアリ、

ソレカラ内務省ノ政務次官ハ病氣缺席、警

保局長ハ本省ニ居ツテ事務上差支ガアルト  
云フノデ參與官ガ參ツテ居リマス、司法省  
カラハ刑事局長ガ參ツテ居リマス——三十  
分間休憩致シマス

午後三時三分休憩

午後四時四十八分開議

○伊藤委員長代理 是ヨリ刑事訴訟法中改

正法律案、俵孫一君外十七名提出、刑事訴  
訟法中改正法律案、堀切善兵衛君外二十四  
名提出、刑事訴訟法中改正法律案、石坂繁  
君外一名提出、刑事訴訟法中改正法律案、  
中村高一君外一名提出、此ノ四件ヲ一括シ  
テ議題ト致シマス——議案提出者一松定吉  
君ノ提案理由ノ説明ヲ求ヌマス

○ 松委員 本法案ノ改正ノ要旨ハ、刑事

訴訟法ノ二百五十二條ニ、二百五十二條ノ  
二ト云フ一項ヲ加ヘルト云フ趣旨アリマ  
シテ、其ノ法案ノ内容ハ「行政執行法ニ依リ  
檢束中ノ者ニ對シテハ搜查ヲ爲スコトヲ得  
ス」ト云フノデアリマス、御承知ノ如ク刑事  
訴訟法ニ於キマシテ、犯罪捜査ヲ爲シ得ベ  
キモノハ司法警察官、檢事竝ニ知事、之ヲ  
補助スベキ警察吏其ノ他特別ニ司法權ノ行  
使ヲ認メラレテ犯罪捜査ノ任ニ當ツテ居ル  
特別ノ地位ニ在ル者ガアリマスガ、主トシ  
テ刑事訴訟法中ニ認メラレテ居リマスルソ

レ等ノ人ガ、犯罪捜査ニ關シ刑事訴訟法ノ命  
ズル時ニ依リマシテ、犯罪ノ捜査ヲ行フト  
云フコトデアレバ何モ問題ハ起ラナイノデ  
アリマスガ、司法警察官、就中司法警察吏、  
是等ノ人々ガ犯罪ヲ捜査スルニ當リマシ

テ、法ノ認メナキ手段方法ニ依ツテ、被  
疑者ヲ逮捕監禁シテ自白ヲ強要シ、サウシ  
テ訴訟ニ必要ナル調査ヲ作製スルト云フ  
風習ガ盛ニ行ハレテ居リマシテ、ソレガ爲  
ニ幾多ノ人權蹂躪問題ヲ持ヘマシテ、世間  
ニ非常ナル衝動ヲ興ヘ、常ニ是ガ議會ノ  
問題ニナツテ居リマスルコトハ私ガ申上げ  
ルマデモナインデアリマス、其ノヤリ方ハ  
ドウスルカト云フト、即チ行政執行法ノ第

一條ニ依ル所ノ法ノ精神ヲ惡用致シマシテ、  
サウシテ善良ナル民衆ヲ不法ニ檢束ヲ致シ  
マシテ、幾日間モ幾日間モ之ヲ警察署ノ留  
置場ノ中ニ監禁ヲシテ、サウンテ自白ヲ強  
要スルト云フ、所謂人權蹂躪行爲ガ警視廳  
打破スペク行政執行法ノ改正法律案が議會  
ニ提案セラレマシテ、貴族院ヲ通過シテ貴

族院ニ廻サレマシテ、貴族院ニ於テ之ヲ否  
決セラレ、若クハ審議未了ニ終ルニ至ラシ

メラレテ居ツタノデアリマス、斯ノ如キ狀  
態デアリマスルガ爲ニ、警察官自身等モ今  
申上げマシタヤウニ、ヤリ方ガ不法不當デ

致サルルコトデアラウト思フノデアリマス、  
私ハ簡單ニ提案ノ理由趣旨ダケヲ申述ブル  
ニ止メテ置キマス、ドウカ、慎重審議ノ上

速カニ委員會ニ於キマシテハ、滿場一致之  
ヲ可決セラレマシテ、希クハ明後日ノ本會

議ニ於ケル日程ニ緊急上程モ致シマシテ、  
早ク之ヲ貴族院ニ送ツテ戴イテ、今議會ニ於

ラルベキ法ノ精神デアルニ拘ラズ、是等ノ  
明文ニ定メラレテ居ル事柄ニ該當シナイ者  
ヲ、謂レナク之ヲ警察署ニ拉致シマシテ、  
自殺ノ虞アリ、公安ヲ害スル虞アリト云フ  
ガ如キ虚偽ノ報告書ヲ作製シテ、サウシテ

翌日ノ日没前ニ身柄ヲ釋放シナケレバナラ  
ナイニ拘ラズ、之ヲ釋放スルコトナク、釋  
放シタルガ如ク書類ノ上ヲ誤魔化シテ、サ

ウシテ幾日間モ何日間モ之ヲ留メ置イテ取  
調ヲ爲シ、自白ヲ強要シ、聽取書ヲ作製シ、  
然ル後之ヲ檢事局ニ送致スルト云フガ如キ  
マセヌ、此ノコトニ付キマシテ當衆議院ニ  
於キマシテハ、久シキ以前ヨリ此ノ弊風ヲ

打破スペク行政執行法ノ改正法律案が議會  
ニ提案セラレマシテ、貴族院ニ於テ之ヲ否  
決セラレ、若クハ審議未了ニ終ルニ至ラシ

メラレテ居ツタノデアリマス、斯ノ如キ狀  
態デアリマスルガ爲ニ、警察官自身等モ今  
申上げマシタヤウニ、ヤリ方ガ不法不當デ

致サルルコトデアラウト思フノデアリマス、  
私ハ簡單ニ提案ノ理由趣旨ダケヲ申述ブル  
ニ止メテ置キマス、ドウカ、慎重審議ノ上

速カニ委員會ニ於キマシテハ、滿場一致之  
ヲ可決セラレマシテ、希クハ明後日ノ本會

議ニ於ケル日程ニ緊急上程モ致シマシテ、  
早ク之ヲ貴族院ニ送ツテ戴イテ、今議會ニ於

ラルベキ法ノ精神デアルニ拘ラズ、是等ノ  
明文ニ定メラレテ居ル事柄ニ該當シナイ者  
ヲ、謂レナク之ヲ警察署ニ拉致シマシテ、  
自殺ノ虞アリ、公安ヲ害スル虞アリト云フ  
ガ如キ虚偽ノ報告書ヲ作製シテ、サウシテ  
翌日ノ日没前ニ身柄ヲ釋放シナケレバナラ  
ナイニ拘ラズ、之ヲ釋放スルコトナク、釋  
放シタルガ如ク書類ノ上ヲ誤魔化シテ、サ  
ウシテ幾日間モ何日間モ之ヲ留メ置イテ取  
調ヲ爲シ、自白ヲ強要シ、聽取書ヲ作製シ、  
然ル後之ヲ檢事局ニ送致スルト云フガ如キ  
マセヌ、此ノコトニ付キマシテ當衆議院ニ  
於キマシテハ、久シキ以前ヨリ此ノ弊風ヲ  
打破スペク行政執行法ノ改正法律案が議會  
ニ提案セラレマシテ、貴族院ニ通過シテ貴  
族院ニ廻サレマシテ、貴族院ニ於テ之ヲ否  
決セラレ、若クハ審議未了ニ終ルニ至ラシ  
メラレテ居ツタノデアリマス、斯ノ如キ狀  
態デアリマスルガ爲ニ、警察官自身等モ今  
申上げマシタヤウニ、ヤリ方ガ不法不當デ  
致サルルコトデアラウト思フノデアリマス、  
私ハ簡單ニ提案ノ理由趣旨ダケヲ申述ブル  
ニ止メテ置キマス、ドウカ、慎重審議ノ上

速カニ委員會ニ於キマシテハ、滿場一致之  
ヲ可決セラレマシテ、希クハ明後日ノ本會  
議ニ於ケル日程ニ緊急上程モ致シマシテ、  
早ク之ヲ貴族院ニ送ツテ戴イテ、今議會ニ於  
テ之ヲ法文化致シマシテ、斯ノ如キ不法ナ  
ハ法律ニ依ルニ非ズシテ逮捕監禁審問處罰  
スル爲ノ保護檢束、若クハ豫防檢束ニ用ヒ  
ハ法律ニ依ルニ非ズシテ逮捕監禁審問處罰

カラシムルコトニ御努力アランコトヲ御願申上ゲル次第アリマス

○伊藤委員長代理 是ヨリ通告順ニ從ツテ質問ヲ許シマス——古島義英君

○古島委員 私ハ去ル十五日、司法保護事業法案ノ最後ノ日ダト存ジマスガ、其ノ時ニ久喜警察署ニ於ケル人權蹂躪ノ事實ニ付テ十分御調ヲ願ヒタイト云フコトヲ、司法省ノ方ニ御願ヲシテ置キマシタガ、相當期間ガアリマシタカラ、御調ガ出來テ居ルト思ヒマス、其ノ報告ヲ承リタイト思ヒマス

○松阪政府委員 只今ノ御尋ニ付キマシテハ、其ノ當時ノ委員會デ私ガ承リマシタ、直チニ浦和地方裁判所ニ調查ヲ命ジタノデアリマスガ、其ノ報告ニ依リマスト、本年二月十一日ニ久喜警察署管内ノ相間村ノ或理髮店ニ於テ賭博ガ行ハレマシタノヲ、其ノ相間村ノ駐在巡査ガ現行犯トシテ本署ニ報告ノ上、司法主任以下數名ノ警察官ガ現場ニ出張致シマシテ、六名ヲ現行犯トシテ逮捕檢舉致シマシタ、久喜署ニ於テ其ノ取調中ニ他ノ現行賭博事件ガアルト云フコトヲ發見致シマシテ、現行犯人十八名ヲ檢舉シ、合計二十四名ノ取調ヲ致シマシタ、一件記録ヲ浦和裁判所ノ檢事局ニ送付致シマシタノデ、二十四日ニ區裁判所ノ主任檢事ガ全

被疑者ヲ調べマシタ上デ、全部ノ被疑者ガ

賭博ヲヤツタト云フ事實ヲ自白致シマシタノデ、其ノ中二十二名ニ對シテ略式命令ヲ以テ罰金ヲ請求シ、他ノ二名ハ情狀起訴猶豫ニ值スルト云フノデ起訴猶豫ニ致シマシタ、此ノ略式命令ハ本月十四日ニ全部確定致シタノデアリマス、其ノ當時賭博事件ノ取調ニ當リマシタ平岡ト云フ檢事が被疑者

二十四名ヲ直接取調ベタノデアリマスガ、當時其ノ被疑者ハ全部犯罪ノ事實ヲサツサト自白致シテ居リマシテ、何人モ警察ニ於

テ拷問ヲ受ケタト云フ訴ヲ致シタコトガナ

イ、又身體、精神ニ異常者ノアルノヲ認メナカツタノデアリマス、隨テ主任檢事ノ意見デハ、其ノ當時取調ニ當ツテ人權蹂躪ノ事實ガアツタト云フコトハ、全然其ノ當時承知シナカツタ、又其ノ後ニ於テ告訴告發等モ更ニ來テ居ラナイト云フコトデアリマス、併シ尙ホ念ノ爲ニ檢事正ハ刑事課長ニ對シテ實情ヲ能ク調査セヨト云フコトヲ命シタ云フ報告ヲ得タ次第アリマス

○古島委員 サウ致シマスルト刑事課長ノ質問ノ題材ニナラナイコトハアリマセヌ、是等ハ始終ナノデアリマスガ、而モ之ニ

シテモ、人權蹂躪問題ガ恐ラク話題ニ上リ、

人事調停ノ問題ニ於キマシテモ、決算ノ問題ニ於キマシテモ、

○古島委員 アトハ私ハ警保局長ニ質問ヲ致シタイノデアリマス、内務省ニ於ケル人

權蹂躪問題ハ、御承知ノ通リドノ委員會デモ問題ニナリマス、恐ラクハ豫算ノ問題ニ

○安藤政府委員 只今古島サンノ御質問ノ中ニアリマシタヤウニ、人權蹂躪ノ問題ヲ近來屢々耳ニ致シマスコトハ、私共ト致シマシテ、洵ニ遺憾ニ存ズル所デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハサウ云フコトヲ耳ニ致シマス度ニ出來ルダケノ調査ヲ致シマシテ、又告訴、告發等ガアリマシタモノニ付テハソレハ、適當ニ司法ノ取調ヲ願ツテ處置致シテ居リマスシ、又サウデナインモノテ付キマシテモ出來ルダケ行政處分等ニ付キマシテ居リマス、

○松阪政府委員 左様ナ意味デ御承知下サ

テ、ソレヲ検討シテ直接調ベル

○古島委員 私ノ聽キ間違カモ知レマセヌガ、マダ刑事課長カラ報告ガナイカラ、ソレ以上ニ進ンデ居ナイト云フコトニ聽イテ

○古島委員 私ノ聽キ間違カモ知レマセヌガ、マダ刑事課長カラ報告ガナイカラ、ソ

レアウト思ヒマス

○松阪政府委員 私ノ聽キ間違カモ知レマセヌガ、マダ刑事課長カラ報告ガナイカラ、ソ

レアウト思ヒマス

○古島委員 私ノ聽キ間違カモ知レマセヌガ、マダ刑事課長カラ報告ガナイカラ、ソ

レアウト思ヒマス

○松阪政府委員 私ノ聽キ間違カモ知レマセヌガ、マダ刑事課長カラ報告ガナイカラ、ソ

キ點、苟モ法ヲ濫用致シマシテ人權蹂躪ニ及ブコトノナイヤウニト云フコトハ、重々訓示注意ハ致シテ居ルノデアリマスガ、非常ニ澤山ノ警察官ノ中ニハ、十分ニ其ノ意思ガ徹底セズシテ、時ニ遺憾ノコトガ起リマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ、既ニ度々衆議院ニ於キマシテモ、サウ云フ御話ヲ承ツテ居リマスカラ、將來トモ十分注意致シタイト存ジテ居リマス

○古島委員 告訴告發ヲ待ツテ處理スルト云フコトデアリマスガ、刑法ノ所謂刑事被告人ニ對スル暴行或ハ凌辱等ハ、是ハ親告罪ニナツテ居ラナイト私ハ承知シテ居リマス、親告罪ニナツテ居ナイ以上ハ、サウ云フ事實ヲ探しシ、若クハ知リ得タナラバ、進ンデ之ヲ處置致スノガ當然ダト思ヒマス、告訴告發ガアル場合ニ於テハ相當ナル處置ヲ執ルト云フヤウナ手溫イコトヲヤツテ居ルカラ問題ガ絶エナイノダト思フ、只今御聽キノ通り司法省ノ方デハ先般久喜ノ問題ニ付テ大分御調査ヲ願ツタヤウニアリマス、此ノ久喜ノ警察ニ於ケル人權蹂躪問題ハ、勿論後ニ略式命令ガ確定致シマシテ、是ハ罰金ニ處セラレテ居リマス、併シナガラ罪ハ罪、人權蹂躪ハ人權蹂躪ニアリマス、近

來マデ若シ事件ガ無罪ニナツタヤウナ場合ニハ、其ノ無罪ニナツタ人ガ相當ナ地位ニアリ、相當ナ知識ノアル人ナラバ、是ハ告訴モ致シ、告發モ致スノデアリマス、若シ誤ツテ其ノ人ガ相當ナ地位ガナイト云フコトニナリマスルト、若シ此ノ事ヲ告訴致シ、告發シテハ又何カデ、ヒドイ目ニ遭フノデハナイカト云フコトカラ、ヤルベクシテヤリ得ナイノデアリマス、私ハ之ヲ考ヘタ時ニ、凡ソ總テノ者ガ自分デ言フコトノ出來ル者ハ幸デアル、言フコト能ハザル者程不幸ナ者ハナイト常ニ言ウテ居ルノデアリマス、曾テ司法官ノ俸給ヲ引下ゲルト云フ問題ガ起リマシタ際ニ、此ノ引下ニ黙ツテ居ナケレバナラヌ警察官、司法官ハ實ニオ氣ノ毒デアル、而モ警察官ノ如キハ之ニ文句ヲ言フ譯ニハ行カヌ、警察官ノ中デ幸ニ身分ヲ保障サレテ居ル人達ハ、不服ヲ言ヒマシタケレドモ、言ヒ得ザル警察官ハ實ニ氣ノ毒デアル、今日刑事被告人モ非常ナ暴行凌虐ヲ受ケマシテ、其ノ事自體ヲ誰カニ訴へ、或ハ裁判所ノ裁斷ヲ受ケルト云フコトガ出来ナイ者ガアルカラ實ニオ氣ノ毒ナノデアリマス、サウ云フ者ニ向ツテハ進ンデ警保局ハソレヲ拾ヒ上ゲテ、ソレヲ助ケテ

ヤルト云フコトヲセネバ、實際國民ハドウシテ生活シテ宜イカ分ラヌコトニナルノデアリマス、食物バカリガ生活ノ糧デハアリマセヌ、自分ノサウ云フ苦シミヲ救ツテ戴クト云フコトガ、何ヨリノ生活ノ糧ニナルノデアリマスカラ、ドウカ其ノ點ヲヤツテ戴キタインデアリマスガ、先程刑事局長ノ御話ノヤウニ、其ノ事件ハナカツタ信ズルト云フコトデアリマスカラ、私ハ其ノ内容ヲ少々知リ得タ所ヲ申上ゲテ之ヲ承リタイト思フ、成程二十數名檢舉サレタコトハ事實デアリマス、二十數名檢舉サレタノデ名ダサウデアリマス、其ノ六名ノ人ガ現行犯ノ「ドサ」ヲ食ツタノデアリマスガ、「ドサ」ノ際ニ木太刀ヲ持ツテ行ツテ皆ソレデアル、サウシテ愈、警察ニ行キマスト——後ニハ人ノ名ヲ擧ゲテ是ガ事實デアルト云フコトヲ申上ゲマス、又證據物件モ御覽ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、是ハ私ガ要求ヲ致シテ取ツタノデハアリマセヌ、私ハ此ノ事タ、サウシマスルト十四日ガ略式命令ニ對ラズ、私ハ今月ノ十二日マデ之ヲ知ラナカツ實ヲ先月ノ十一日ニ起ツタ事案デアルニ拘ル異議ノ申立ノ最終ノ日ダト云フノデ、

之ニ異議ノ申立ヲ私ノ所ヘ頼ミニ來タ、所ガ私ハサウ云フモノハ異議ノ申立ナドセズ、ヤツタコトハ惡イノデアルカラ、罰金ヲ御納メナサイト云フノデ、私ハ異議ノ申立ヲヤラナイ、其ノ時ニ聞イタコトガ餘リヲカシイノデ、其ノ事實ヲ私ハ知ラセテ下サイト言ツテヤツタノデアリマス、サウスルト各人ガ堵問ヲ受ケ、若クハ暴行ヲ受ケ、凌虐ヲ受ケタ人達ガ各別々ニ之ヲ私ノ手許ニ送ツテ參ツタ、其ノ手紙デアリマス、其ノ手紙ノ一部ヲ讀ミマスト、中ニハオ筆先ノヤウナ文字ガ書イテアツテ分ラナイ所モアリマスルカラ、私ハ要點ノ一部ヲ抜取ツタノデアリマス、ドウカ之ヲ御覽ノ上ニ私ノ言フコトト違ヒガアルカドウカラ見テ戴キタイト思フ、其ノ中ニ名前ヲ匿シテ吳レト云フノガ三名アリマスカラ、ソレハ申シマセヌ、藤村忠次郎ト云フ被告ガアル、此ノ人ハ連レテ行カレマスト頭ヲ竹刀デ殴ラレタ、其ノ度ニ竹刀ニ毛ガ挿ツテ頭ノ毛ガボロボロ落チルト云フノデアリマス、實ニ残酷ナコトヲ致シタモノデアリマス、サウシテ三四十マデ打タレル間ヘ分ツテ居ツタガ、其ノ後ハ分ラナイト言フ、是ハ實ニ可哀相ナコトデハアリマセヌカ、實際博奕ヲヤツタトシマシテモヤラヌトシマシテモ、何等道

具ヲ付ケザル者ヲ三四十モ竹刀デ叩クト云  
フニ至リマシテハ言語同斷デアリマス、其ノ次  
ルデ鬼畜ノ如キヤリ方デアリマス、其ノ次  
ノ石井良作ト云フ者、是ハ自白シタト言フ、  
自白シタニ拘ラズ竹刀棒デ頭ヲ殴ラレ股ヲ  
散々殴ラレテ足モ腰モ立タナクナツタ、斯  
ウ書イテアル、サウシテ一週間ハ全ク頭ヤ  
腰ガ痛クテ仕事が出来ナカツタト言ツテ居  
リマス、ソレカラ渡邊一郎ト云フノガ次ニ  
アリマス、是モ自白ハ致シテ居ルヤウデア  
リマス、是ハ名前ヲ言ツテ居リマス、其處  
ニ打ツタ人ノ名前ガ書イテアリマスルガ、  
ソレニハ鹿間刑事、上原司法主任トスウ書  
イテアリマス、鹿間ト云フノハ恐ラク色摩  
ト云フ刑事ガ其處ニ居リマスカラ其ノ間違  
ヒダト私ハ思ヒマス、其ノ人ニ質問サレテ  
頭ヲ擊劍棒デ打タレタ、是モ竹刀棒デハナ  
イカト思フ、擊劍棒デ數回打タレタ、尙  
ホ腰ヤ尻ヲ竹棒デ打タレ、歸宅後十日間ハ  
仕事が出来ナイデ今月ノ十三日ニナツテモ  
マダブラー致シテ居ルト云フ、ソレカラ  
名前ハ言フナト言ハレテ居ルノデアリマス  
カラ○原○司トスウ御聽取ヲ願ヒタイ、是  
モ名前ヲ言ツテ居リマス、林署長、上原司  
法主任、色摩刑事以上三名ノ者ニ頭ト言ハ  
ズ、手ト言ハズ竹刀デ散々ニ打タレタ、自

白シタニ拘ラズ一口毎ニ打タレ、頭ハ瘤ダ  
ラケ、股ハ一面ニ瘡ガ出來タ、斯ウ言ツテ  
居リマス、ソレカラ加藤熊藏ト云フノガア  
リマス、是ハ刑事ニ腰ヲ竹刀デ打タレマシ  
テ、馬乘ニナツテ頸ヲ締メ、非常ニ苦シング  
煙草入ガ打壊サレタ、是ハ腰ヲ打ツ叩ク時  
煙草入ニ當ツタモノデアルカラ煙草入ヲ打  
壊シタ、實ニ恐ルベキモノデアル、其ノ次  
ハ是モ言ツテ吳レルナト云フコトデアリマ  
スカラ○口○範トドモ御聽取ヲ願ヒタイ、  
是ハ咽喉ヲ縊ラレテ氣絶ヲ致シマシタ、尙  
ホ息ヲ吹返スト今度ハ頭ヲ打タレ暫クノ間  
咽喉ノ工合ガ癒ラズニ居ツタト云フコトデ  
アリマス、嘘ノヤウナ事實デアリマス、其  
ノ次モ名前ヲ言ツテ吳レルナト云フノデア  
リマスカラ、是ハ〇〇〇右衛門ト言ツテ置  
キマセウ、ソチラニハチヤント名前ガ書イ  
テアリマス、是ハ司法主任殿ガ、此ノ野郎  
貴様博奕ヲ止メロトハ言ハヌト言ツテ、帶  
ヲ解カセ、著物ヲ脱ガセ這ハセテ竹刀棒デ  
散々ニ打チ叩キ、又刑事殿ガ替ツテ打チ、  
終ヒニハ建國體操ト云フ非常ニ苦シイコト  
ヲヤラセラレテ、其ノ爲十日間頭ト體ガ  
痛クテ仕事モ何モ出來ナイ、建國體操ト云  
フモノハドウ云フモノカ私ハ知リマセヌガ、  
モ名前ヲ言ツテ居リマス、林署長、上原司  
法主任、色摩刑事以上三名ノ者ニ頭ト言ハ  
ズ、手ト言ハズ竹刀デ散々ニ打タレタ、自

白シタニ拘ラズ一口毎ニ打タレ、頭ハ瘤ダ  
ラケ、股ハ一面ニ瘡ガ出來タ、斯ウ言ツテ  
居リマス、ソレカラ加藤熊藏ト云フノガア  
リマス、是ハ刑事ニ腰ヲ竹刀デ打タレマシ  
テ、馬乗ニナツテ頸ヲ締メ、非常ニ苦シング  
煙草入ガ打壊サレタ、是ハ腰ヲ打ツ叩ク時  
煙草入ニ當ツタモノデアルカラ煙草入ヲ打  
壊シタ、實ニ恐ルベキモノデアル、其ノ次  
ハ是モ言ツテ吳レルナト云フコトデアリマ  
スカラ○口○範トドモ御聽取ヲ願ヒタイ、  
是ハ咽喉ヲ縊ラレテ氣絶ヲ致シマシタ、尙  
ホ息ヲ吹返スト今度ハ頭ヲ打タレ暫クノ間  
咽喉ノ工合ガ癒ラズニ居ツタト云フコトデ  
アリマス、嘘ノヤウナ事實デアリマス、其  
ノ次モ名前ヲ言ツテ吳レルナト云フノデア  
リマスカラ、是ハ〇〇〇右衛門ト言ツテ置  
キマセウ、ソチラニハチヤント名前ガ書イ  
テアリマス、是ハ司法主任殿ガ、此ノ野郎  
貴様博奕ヲ止メロトハ言ハヌト言ツテ、帶  
ヲ解カセ、著物ヲ脱ガセ這ハセテ竹刀棒デ  
散々ニ打チ叩キ、又刑事殿ガ替ツテ打チ、  
終ヒニハ建國體操ト云フ非常ニ苦シイコト  
ヲヤラセラレテ、其ノ爲十日間頭ト體ガ  
痛クテ仕事モ何モ出來ナイ、建國體操ト云  
フモノハドウ云フモノカ私ハ知リマセヌガ、  
モ名前ヲ言ツテ居リマス、林署長、上原司  
法主任、色摩刑事以上三名ノ者ニ頭ト言ハ  
ズ、手ト言ハズ竹刀デ散々ニ打タレタ、自

白シタニ拘ラズ一口毎ニ打タレ、頭ハ瘤ダ  
ラケ、股ハ一面ニ瘡ガ出來タ、斯ウ言ツテ  
居リマス、ソレカラ加藤熊藏ト云フノガア  
リマス、是ハ刑事ニ腰ヲ竹刀デ打タレマシ  
テ、馬乗ニナツテ頸ヲ締メ、非常ニ苦シング  
煙草入ガ打壊サレタ、是ハ腰ヲ打ツ叩ク時  
煙草入ニ當ツタモノデアルカラ煙草入ヲ打  
壊シタ、實ニ恐ルベキモノデアル、其ノ次  
ハ是モ言ツテ吳レルナト云フコトデアリマ  
スカラ○口○範トドモ御聽取ヲ願ヒタイ、  
是ハ咽喉ヲ縊ラレテ氣絶ヲ致シマシタ、尙  
ホ息ヲ吹返スト今度ハ頭ヲ打タレ暫クノ間  
咽喉ノ工合ガ癒ラズニ居ツタト云フコトデ  
アリマス、嘘ノヤウナ事實デアリマス、其  
ノ次モ名前ヲ言ツテ吳レルナト云フノデア  
リマスカラ、是ハ〇〇〇右衛門ト言ツテ置  
キマセウ、ソチラニハチヤント名前ガ書イ  
テアリマス、是ハ司法主任殿ガ、此ノ野郎  
貴様博奕ヲ止メロトハ言ハヌト言ツテ、帶  
ヲ解カセ、著物ヲ脱ガセ這ハセテ竹刀棒デ  
散々ニ打チ叩キ、又刑事殿ガ替ツテ打チ、  
終ヒニハ建國體操ト云フ非常ニ苦シイコト  
ヲヤラセラレテ、其ノ爲十日間頭ト體ガ  
痛クテ仕事モ何モ出來ナイ、建國體操ト云  
フモノハドウ云フモノカ私ハ知リマセヌガ、  
モ名前ヲ言ツテ居リマス、林署長、上原司  
法主任、色摩刑事以上三名ノ者ニ頭ト言ハ  
ズ、手ト言ハズ竹刀デ散々ニ打タレタ、自

ト云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、其

ノ次ハ藤村國吉ト云フ者デアリマスガ、是

ラケ、股ハ一面ニ瘡ガ出來タ、斯ウ言ツテ

居リマス、ソレカラ加藤熊藏ト云フノガア

リマス、是ハ刑事ニ腰ヲ竹刀デ打タレマシ

テ、馬乗ニナツテ頸ヲ締メ、非常ニ苦シング

煙草入ガ打壊サレタ、是ハ腰ヲ打ツ叩ク時

煙草入ニ當ツタモノデアルカラ煙草入ヲ打

壊シタ、實ニ恐ルベキモノデアル、其ノ次

ハ是モ言ツテ吳レルナト云フコトデアリマ

スカラ○口○範トドモ御聽取ヲ願ヒタイ、

是ハ咽喉ヲ縊ラレテ氣絶ヲ致シマシタ、尙

ホ息ヲ吹返スト今度ハ頭ヲ打タレ暫クノ間

咽喉ノ工合ガ癒ラズニ居ツタト云フコトデ

アリマス、嘘ノヤウナ事實デアリマス、其

ノ次モ名前ヲ言ツテ吳レルナト云フノデア

リマスカラ、是ハ〇〇〇右衛門ト言ツテ置

キマセウ、ソチラニハチヤント名前ガ書イ

テアリマス、是ハ司法主任殿ガ、此ノ野郎

貴様博奕ヲ止メロトハ言ハヌト言ツテ、帶

ヲ解カセ、著物ヲ脱ガセ這ハセテ竹刀棒デ

散々ニ打チ叩キ、又刑事殿ガ替ツテ打チ、

終ヒニハ建國體操ト云フ非常ニ苦シイコト

ヲヤラセラレテ、其ノ爲十日間頭ト體ガ

痛クテ仕事モ何モ出來ナイ、建國體操ト云

フモノハドウ云フモノカ私ハ知リマセヌガ、

モ名前ヲ言ツテ居リマス、林署長、上原司

法主任、色摩刑事以上三名ノ者ニ頭ト言ハ

ズ、手ト言ハズ竹刀デ散々ニ打タレタ、自

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、司法主任殿ガ其ノ後カラ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、渡邊君ハ轉ガツタ儘、旦那助ケテ

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、傷ガ癒ラズニ居ルト云フ、是ハ實ニ恐ルベキ

コトデアリマス、市川莊藏ト云フ人、是モ竹棒

又ハ竹刀棒デ打タレタト言ウテ居ル、鴨田

正雄ハオ前ハ署ニ何ノ爲ニ來タカト訊カ

レ、私ハ何ノ爲ニ來タカ分リマセヌト、實

際分ラヌカラ分ラヌスト言フ、サウスルト貴

様ハ圖々シイ男ダト云フノデ、直グ三ツバ

カリビンタラ打タレ、又竹刀デ頭ヲ打タレ

此ノ野郎ハ若イカラブツ叩イテモ直グ癒ル

ダラウト云フノデ、ertz叩カレタト云フ、

私ガ之ヲ言ツタダケデハ誰モ本當デアルマ

イト信ズルヤウナヤリ方デアリマス、平井

實、是ハ二月十三日午後三時頃ト思ヒマス、

司法主任殿ト刑事殿ニ調ベラレ、三十分位申

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、傷ガ癒ラズニ居ルト云フ、是ハ實ニ恐ルベキ

コトデアリマス、市川莊藏ト云フ人、是モ竹棒

又ハ竹刀棒デ打タレタト言ウテ居ル、鴨田

正雄ハオ前ハ署ニ何ノ爲ニ來タカ分リマセヌト、實

際分ラヌカラ分ラヌスト言フ、サウスルト貴

様ハ圖々シイ男ダト云フノデ、直グ三ツバ

カリビンタラ打タレ、又竹刀デ頭ヲ打タレ

此ノ野郎ハ若イカラブツ叩イテモ直グ癒ル

ダラウト云フノデ、ertz叩カレタト云フ、

私ガ之ヲ言ツタダケデハ誰モ本當デアルマ

イト信ズルヤウナヤリ方デアリマス、平井

實、是ハ二月十三日午後三時頃ト思ヒマス、

司法主任殿ト刑事殿ニ調ベラレ、三十分位申

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、傷ガ癒ラズニ居ルト云フ、是ハ實ニ恐ルベキ

コトデアリマス、市川莊藏ト云フ人、是モ竹棒

又ハ竹刀棒デ打タレタト言ウテ居ル、鴨田

正雄ハオ前ハ署ニ何ノ爲ニ來タカ分リマセヌト、實

際分ラヌカラ分ラヌスト言フ、サウスルト貴

様ハ圖々シイ男ダト云フノデ、直グ三ツバ

カリビンタラ打タレ、又竹刀デ頭ヲ打タレ

此ノ野郎ハ若イカラブツ叩イテモ直グ癒ル

ダラウト云フノデ、ertz叩カレタト云フ、

私ガ之ヲ言ツタダケデハ誰モ本當デアルマ

イト信ズルヤウナヤリ方デアリマス、平井

實、是ハ二月十三日午後三時頃ト思ヒマス、

司法主任殿ト刑事殿ニ調ベラレ、三十分位申

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、傷ガ癒ラズニ居ルト云フ、是ハ實ニ恐ルベキ

コトデアリマス、市川莊藏ト云フ人、是モ竹棒

又ハ竹刀棒デ打タレタト言ウテ居ル、鴨田

正雄ハオ前ハ署ニ何ノ爲ニ來タカ分リマセヌト、實

際分ラヌカラ分ラヌスト言フ、サウスルト貴

様ハ圖々シイ男ダト云フノデ、直グ三ツバ

カリビンタラ打タレ、又竹刀デ頭ヲ打タレ

此ノ野郎ハ若イカラブツ叩イテモ直グ癒ル

ダラウト云フノデ、ertz叩カレタト云フ、

私ガ之ヲ言ツタダケデハ誰モ本當デアルマ

イト信ズルヤウナヤリ方デアリマス、平井

實、是ハ二月十三日午後三時頃ト思ヒマス、

司法主任殿ト刑事殿ニ調ベラレ、三十分位申

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、傷ガ癒ラズニ居ルト云フ、是ハ實ニ恐ルベキ

コトデアリマス、市川莊藏ト云フ人、是モ竹棒

又ハ竹刀棒デ打タレタト言ウテ居ル、鴨田

正雄ハオ前ハ署ニ何ノ爲ニ來タカ分リマセヌト、實

際分ラヌカラ分ラヌスト言フ、サウスルト貴

様ハ圖々シイ男ダト云フノデ、直グ三ツバ

カリビンタラ打タレ、又竹刀デ頭ヲ打タレ

此ノ野郎ハ若イカラブツ叩イテモ直グ癒ル

ダラウト云フノデ、ertz叩カレタト云フ、

私ガ之ヲ言ツタダケデハ誰モ本當デアルマ

イト信ズルヤウナヤリ方デアリマス、平井

實、是ハ二月十三日午後三時頃ト思ヒマス、

司法主任殿ト刑事殿ニ調ベラレ、三十分位申

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時

デシタ、劍道ノ竹刀ヲ持ツテ來テ渡邊君ノ

オ尻ノアタリデシタラウ、隨分打ツタカ

テ來マシタ、傷ガ癒ラズニ居ルト云フ、是ハ實ニ恐ルベキ

コトデアリマス、市川莊藏ト云フ人、是モ竹棒

又ハ竹刀棒デ打タレタト言ウテ居ル、鴨田

正雄ハオ前ハ署ニ何ノ爲ニ來タカ分リマセヌト、實

際分ラヌカラ分ラヌスト言フ、サウスルト貴

様ハ圖々シイ男ダト云フノデ、直グ三ツバ

カリビンタラ打タレ、又竹刀デ頭ヲ打タレ

此ノ野郎ハ若イカラブツ叩イテモ直グ癒ル

ダラウト云フノデ、ertz叩カレタト云フ、

私ガ之ヲ言ツタダケデハ誰モ本當デアルマ

イト信ズルヤウナヤリ方デアリマス、平井

實、是ハ二月十三日午後三時頃ト思ヒマス、

司法主任殿ト刑事殿ニ調ベラレ、三十分位申

上ゲタ、ソレヨリ道場ニ連レテ行カレ、日

ノ暮レルマデ其處ニ置カレ、其ノ晩ハ留置

場ノ前ニ筵ヲ敷イテ寝セラレタ、二月十三

日ノコトデアリマス、其ノ次ノ日又午後ト

思ヒマスガ、再び調ガアツテ、其ノ時デシ

タ、私ガ調ベラレ中ニ、渡邊一郎君ガ入ツ

テ來マシタ、一口二口物ヲ言ツタカト思ツタ時</p

ノ事ヲ言ヒマスト、マダ此ノ前ニモヤツタコトガアルダラウト言ハレ、實際ヤツタコトガナイカラ、無イト言フト、嘘ヲ言フナト、ビンタヲ四ツ打タレ、頭ノ毛ヲ持ツテ疊ニ摺付ケラレマシタ、是モ隨分亂暴ナヤリ方デス、猫ガ魚ヲ盜ンデモ中々猫ヲ愛スル者ハ猫ノ鼻ヲ疊ニ摺付ケルヤウナコトハ出來マセヌ、ソレヲドウデセウ、人間ノ頭ノ毛ヲ持ツテ、其ノ顔ヲ疊ニ摺付ケル、斯ウ云フコトガ出來ルモノデスカ、ソレデモノ毛ヲ持ツテ、竹刀無イト言フト、今度ハ足デ蹴ツテ、竹刀デ頭ヲ打タレ、一時ハ痛クテ堪リマセヌデシタト其ノ紙ニ書イデアル、平井嘉治ハ、此ノ野郎ハ圖々シイト云フノデ鑿劍ノ竹刀ノ破損シテ居ルモノデ數限リナク、頭ト云ハズ、尻ト言ハズ、打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

調べラレ、又シテモ拷問セラレ、一度デモコトハ出來マセヌ、平井春吉ト云フノガ二月十一日木刀デ殴ラレテ久喜署ニ連レテ行カレ、翌十二日ハ朝飯モ晝飯モ吳レズ、三時頃牢ノ前ニ手錠ノ儘椅子ニ縛リ付ケラレタ平井嘉治ガ眞蒼ニナツテロヨリ泡ヲ吹キ二言バカリ俺ト言ツテ伸ビ始メマシタラ、監視巡査ガ竹刀ノ竹ニテ假病スルト打ツテシマフゾト歐リ、椅子諸共打チ倒シタ、巡査モ蒼クナリ、電話デ醫者ヲ呼ビ、何カ注射致シ、大シタコトハナイト牢ニ入レ、牢内ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレキマスカラ、ハツト申シマスト、貴様ノ方皆調べヨリ七日目頃調ベラレ、春野郎ト指デ額ヲ突ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレ打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

モ先程刑事局長ノ御話ノヤウニ、何十何名ノ二度デモ罪ハ同ジト思フカラ、自白ヲ致シテハドウモ人民ヲ保護スルノカドウスルノカ分ラヌ、鬼畜ノ仕事ニアラズンバ此ノ位ノコトハ出來マセヌ、平井春吉ト云フノガ二月十一日木刀デ殴ラレテ久喜署ニ連レテ行カレ、翌十二日ハ朝飯モ晝飯モ吳レズ、三時頃牢ノ前ニ手錠ノ儘椅子ニ縛リ付ケラレタ平井嘉治ガ眞蒼ニナツテロヨリ泡ヲ吹キ二言バカリ俺ト言ツテ伸ビ始メマシタラ、監視巡査ガ竹刀ノ竹ニテ假病スルト打ツテシマフゾト歐リ、椅子諸共打チ倒シタ、巡査モ蒼クナリ、電話デ醫者ヲ呼ビ、何カ注射致シ、大シタコトハナイト牢ニ入レ、牢内ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレキマスカラ、ハツト申シマスト、貴様ノ方皆調べヨリ七日目頃調ベラレ、春野郎ト指デ額ヲ突ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレ打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

モ先程刑事局長ノ御話ノヤウニ、何十何名ノ二度デモ罪ハ同ジト思フカラ、自白ヲ致シテハドウモ人民ヲ保護スルノカドウスルノカ分ラヌ、鬼畜ノ仕事ニアラズンバ此ノ位ノコトハ出來マセヌ、平井春吉ト云フノガ二月十一日木刀デ殴ラレテ久喜署ニ連レテ行カレ、翌十二日ハ朝飯モ晝飯モ吳レズ、三時頃牢ノ前ニ手錠ノ儘椅子ニ縛リ付ケラレタ平井嘉治ガ眞蒼ニナツテロヨリ泡ヲ吹キ二言バカリ俺ト言ツテ伸ビ始メマシタラ、監視巡査ガ竹刀ノ竹ニテ假病スルト打ツテシマフゾト歐リ、椅子諸共打チ倒シタ、巡査モ蒼クナリ、電話デ醫者ヲ呼ビ、何カ注射致シ、大シタコトハナイト牢ニ入レ、牢内ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレキマスカラ、ハツト申シマスト、貴様ノ方皆調べヨリ七日目頃調ベラレ、春野郎ト指デ額ヲ突ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレ打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

モ先程刑事局長ノ御話ノヤウニ、何十何名ノ二度デモ罪ハ同ジト思フカラ、自白ヲ致シテハドウモ人民ヲ保護スルノカドウスルノカ分ラヌ、鬼畜ノ仕事ニアラズンバ此ノ位ノコトハ出來マセヌ、平井春吉ト云フノガ二月十一日木刀デ殴ラレテ久喜署ニ連レテ行カレ、翌十二日ハ朝飯モ晝飯モ吳レズ、三時頃牢ノ前ニ手錠ノ儘椅子ニ縛リ付ケラレタ平井嘉治ガ眞蒼ニナツテロヨリ泡ヲ吹キ二言バカリ俺ト言ツテ伸ビ始メマシタラ、監視巡査ガ竹刀ノ竹ニテ假病スルト打ツテシマフゾト歐リ、椅子諸共打チ倒シタ、巡査モ蒼クナリ、電話デ醫者ヲ呼ビ、何カ注射致シ、大シタコトハナイト牢ニ入レ、牢内ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレキマスカラ、ハツト申シマスト、貴様ノ方皆調べヨリ七日目頃調ベラレ、春野郎ト指デ額ヲ突ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレ打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

モ先程刑事局長ノ御話ノヤウニ、何十何名ノ二度デモ罪ハ同ジト思フカラ、自白ヲ致シテハドウモ人民ヲ保護スルノカドウスルノカ分ラヌ、鬼畜ノ仕事ニアラズンバ此ノ位ノコトハ出來マセヌ、平井春吉ト云フノガ二月十一日木刀デ殴ラレテ久喜署ニ連レテ行カレ、翌十二日ハ朝飯モ晝飯モ吳レズ、三時頃牢ノ前ニ手錠ノ儘椅子ニ縛リ付ケラレタ平井嘉治ガ眞蒼ニナツテロヨリ泡ヲ吹キ二言バカリ俺ト言ツテ伸ビ始メマシタラ、監視巡査ガ竹刀ノ竹ニテ假病スルト打ツテシマフゾト歐リ、椅子諸共打チ倒シタ、巡査モ蒼クナリ、電話デ醫者ヲ呼ビ、何カ注射致シ、大シタコトハナイト牢ニ入レ、牢内ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレキマスカラ、ハツト申シマスト、貴様ノ方皆調べヨリ七日目頃調ベラレ、春野郎ト指デ額ヲ突ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレ打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

モ先程刑事局長ノ御話ノヤウニ、何十何名ノ二度デモ罪ハ同ジト思フカラ、自白ヲ致シテハドウモ人民ヲ保護スルノカドウスルノカ分ラヌ、鬼畜ノ仕事ニアラズンバ此ノ位ノコトハ出來マセヌ、平井春吉ト云フノガ二月十一日木刀デ殴ラレテ久喜署ニ連レテ行カレ、翌十二日ハ朝飯モ晝飯モ吳レズ、三時頃牢ノ前ニ手錠ノ儘椅子ニ縛リ付ケラレタ平井嘉治ガ眞蒼ニナツテロヨリ泡ヲ吹キ二言バカリ俺ト言ツテ伸ビ始メマシタラ、監視巡査ガ竹刀ノ竹ニテ假病スルト打ツテシマフゾト歐リ、椅子諸共打チ倒シタ、巡査モ蒼クナリ、電話デ醫者ヲ呼ビ、何カ注射致シ、大シタコトハナイト牢ニ入レ、牢内ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレキマスカラ、ハツト申シマスト、貴様ノ方皆調べヨリ七日目頃調ベラレ、春野郎ト指デ額ヲ突ノ私等ガ介抱シテ氣ガ付キマシタ、私ハソレ打チノメサレ、剩ヘ縛ラレテ居ル手ノ指ニ鉛筆ノ如キ棒ヲ挾ミ、前同様拷問サレ、涙ヲ呑ンデ我慢シテ居リマシタ所、シブトイ野郎ダト署ノ前ニ、三四十分位木ノ腰掛ニ掛ケサセラレ、ソレヨリ留置場ノ前ノ椅子ナリ、其ノ場ニ卒倒シ意識ヲ失ヒマシタ、其ノ節醫者ノ厄介ニナリ、氣ガ付イタ時ニハ留置場ニ寝カサレテ居ツタ、翌十三日朝再び

據ニシテ私ハ御話ヲスルノデハアリマセヌ、投書デナクテ自分デ署名捺印ヲシタル書面デアリマスルカラ十分信ズルニ足ルト私ハ存ジマス、其ノ積リデ御調ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ私ガ申上ゲルコトガ宜イカ惡イカ分ラヌノデアリマスガ、實際ハサウ云フ瀆職ヲ爲シタモノヲ救フ結果——是ハ私モ御察シハ致シマス、自分ノ部下カラサウ云フ被告ヲ出スト云フコトハ忌ハシイコトデアリマスカラ、保護ノ出來ル限りハ保護ヲセズバナリスマイ、其ノ結果アレドモ之ヲ葬ムルト云フコトハ人情トシテ致シ方ガナイノデアリマス、人情トシテハ致シ方ガナイガ、併シ國家ノ政道ヲ如何ニスルカ、ヤハリ部下ニサウ云フ過チガアルナラバ其ノ上長官モ亦其ノ責任ヲ問ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、上長官ノ責任ヲ問フカラニハ其ノ罪狀ニ向ツテハ正確ヲ期セネベナラヌコトハ固ヨリデアリマス、所ガドウモ忌ハシイコトニハ、サウ云フ問題ハ一應聞イテ聞流シニスルト云フノガ甚ダ多イ、私ハ之ヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマスルガ、現ニ是ハ詳シクハ申ス必要ハアリマセヌカラ申上ゲマセヌガ、例ノ百万圓ノ問題デアリマス、埼玉縣ノ百万圓事件、是ハ御承知デアリマセウ、アノ時ノ監督ノ責ニ

居ツタ所ノ知事デ今デモ知事ヲヤツテ居ル  
方ガアリマス、ソレカラ昭和十二年ニアノ  
事件ハ檢舉サレタノデアリマスガ、其ノ時  
ニ内務次官デ居ラレ、後ニ厚生次官ニ迭リ、  
現ニ今日ノ厚生大臣ヲナサツテ居ル方モア  
リマス、ソレカラ十二年ノ檢舉當時ニ關係  
アツタ方デ畏多クモ釐轂ノ下ニ治安ヲ維持  
スル所ノ警視總監ニナツテオ居デノ方モア  
リマス、斯ウ云フコトニナリマスト、幾ラ  
内閣デ訓示ヲ出シマシテモ、吏道刷新デア  
レトカ、官吏ト云フモノハ斯ウセネバナラ

ナ氣ガアル、ソレデ其ノ後ニ來ルモノハ何  
デアルカト云フト、是ハ恐ルベキモノデア  
ル、言ヘルコトヲズバ、言ツテ居ル中ハ  
結構デアリマスガ、言ハントシテモ言フ能  
ハザルノ結果ハソレガ内攻致シマス、内攻  
致シタ結果、ソレガ爆發スルノデハナイカ  
ト云フコトヲ慮ルト、實ニ恐ルベキモノデ  
アルト云フコトヲ私ハ申スノデアル、其ノ  
咎憤ニ閉チ籠ヌラレテ居ツタ埼玉縣ニ此ノ  
不祥事が起ツタ、一方ニ於テハアア吾々ハ

デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ必ズ躊躇ナク又何等ノ手加減ヲナサレズニ堂々トヤツテ戴ク方ガ宜イト思フ、ソレヲシナイト、今日ドウ云フ氣配ガ起ツテ居ルカト云フト、今後來ルモノハモウ不納同盟デアル、現ニ此ノ間モ斯ウ云フコトガアリマシタ、或ル婆サン所デ税金ガ滯ツタト云フノデ、ソレニ對シテ強制執行ヲスルト云フノデ——實際ハ強制執行ヲスル積リハナカツタデセウガ、稅務署カラ行ツタト云フコトデアル、スルト其ノ婆サンハ本氣ニナツテ、ア

事件ハ檢舉サレタノデアリマスガ、其ノ時  
ニ内務次官デ居ラレ、後ニ厚生次官ニ迭リ、  
現ニ今日ノ厚生大臣ヲナサツテ居ル方モア  
リマス、ソレカラ十二年ノ檢舉當時ニ關係  
アツタ方デ畏多クモ輦轂ノ下ニ治安ヲ維持  
スル所ノ警視總監ニナツテオ居デノ方モア  
リマス、斯ウ云フコトニナリマスト、幾ラ  
内閣デ訓示ヲ出シマシテモ、吏道刷新デア  
ルトカ、官吏ト云フモノハ斯ウセネバナラ  
ヌ、官吏ノ遵守スベキ要道ハ斯クナケレバ  
ナラヌト申シマシテモ、一方國民ハ其ノ爲  
ニ非常ニ苦シミヲ感ジテ居ル、一方ニハ其  
ノ苦シミヲ感ジサセタ人ガ、實際カラ言ヘ  
バ是ハ相當責任ヲ取ラネバナラヌノデアリ  
マスガ、幸ナ事ニハ、昭和十三年ノ二月、  
例ノ憲法發布五十周年ノ御祝ノ勅令ガ出  
テ、其ノ結果其ノ前ノ刑事責任デアルトカ、  
タト云フコトヲ奇貨ト致シテ、是ガ堂々ト  
懲戒責任デアルトカ云フモノハ、無クナツ  
ケ僚ノ一人ニナツタリ、或ハ警視總監デ候  
ノ云ツテ居ルヤウナ今日デアリマスカラ、  
ハ此ノ苦シミシテ居ル、アノ人達ハアア  
ソレヲ見タ埼玉縣民ハ何ト思ツタカ、吾々

ナ氣ガアル、ソレデ其ノ後ニ來ルモノハ何  
デアルカト云フト、是ハ恐ルベキモノデア  
ル、言ヘルコトヲズバ、言ツテ居ル中ハ  
結構デアリマスガ、言ハントシテモ言フ能  
ハザルノ結果ハソレガ内攻致シマス、内攻  
致シタ結果、ソレガ爆發スルノデハナイカ  
ト云フコトヲ慮ルト、實ニ恐ルベキモノデア  
ルト云フコトヲ私ハ申スノデアル、其ノ  
憲憤ニ閉チ籠メラレテ居ツタ埼玉縣ニ此ノ  
不祥事ガ起ツタ、一方ニ於テハアア吾々ハ  
詰ラナイ、幾ラ骨ヲ折ツテモ致シ方ガナイ、  
斯ウ悲觀ヲシテ居ルノニ、成程博奕ヲ打ツ  
タ者ハ惡イニ相違ナイガ、之ヲ引ツ張ツテ  
殴ラレタ者ハドウ思フデアリマセウ、ブン  
者ノ立場ニナツテ考ヘテ戴キタイ、モウ致  
シ方ガナイ、吾々ハ全ク昔ノ奴隸ノ如キモ  
ノニナルカ、或ハ自分ノ主張ヲ通サウトス  
レバドウスルカト云フ所ヘ追込メラレテ  
ハ、幾ラ思想的ニ之ヲ善導シヨウトシテモ  
頭ノ芯ニ是ガ沁ミテシマヒマス、私ハ思想  
問題カラ申シマシテモ、斯ノ如キコトヲ放  
ツテ置クト云フコトハ重大事ダト思フ、ソ  
コデ若シ誤ガアルナラバ、訓示ヲ出しシテ官  
吏ノ遵守スベキ要項ヲ告ゲラレタ此ノ内閣

デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ必ズ躊躇ナク又何等ノ手加減ヲナサレズニ堂々トヤツテ戴ク方ガ宜イト思フ、ソレヲシナイト、今日ドウ云フ氣配ガ起ツテ居ルカラト云フト、今後來ルモノハモウ不納同盟デアル、現ニ此ノ間モ斯ウ云フコトガアリマシタ、或ル婆サン所デ税金ガ滯ツタト云フノデ、ソレニ對シテ強制執行ヲスルト云フノデ——實際ハ強制執行ヲスル積リハナカツタデセウガ、稅務署カラ行ツタト云フコトデアル、スルト其ノ婆サンハ本氣ニナツテ、アナタ方ハサウ骨ヲ折ツテ金ヲ取立ニ來ルノハ洵ニ御苦勞ダガ、折角取立テモ其ノ金ハ縣廳ノ人達ニ使ハレテシマフノダカラ、サウ取立ヲシナイデモ宜イデヤナイカ、サウ云フ金ナラ私モ納メナイデモ宜イデハナイカト云フノデ、無智ナ婆サンスラサウ答ヘテ居ルト云フコトデアル、是ハ實ニ恐ルベキコトデアル、サウシテ相當知識ノアル方面バドウカト云フト、埼玉縣デ元利合計百五十万圓ノ訴ヲ受ケテ居ル、是ハ御承知デアル、是可致シタ、十万圓ノ金ヲ取ル者ハ誰カト云フ、ソレハ内務省デ斡旋シタ辯護士トヤアル、是ハ管轄ガ違フカラ御承知ナイカ

用ヲ取ルコトニナツテ居リマスカラ、幾ラ  
巧ク行ツテモ十万圓ハ助カラナイ、下手ヲ  
ヤルナラバ百五十万圓ノ金ヲ負擔シナケレ  
バナラヌ、埼玉縣ノ人口ハ百五十万ニハ缺  
ケルノデアリマスガ、僅カ百五十万シカ居  
ナイ所デ百五十万圓拂フノデアリマスカラ、  
女モ男モ老モ若キモ一人一圓ヅツノ損害ヲ  
シナケレバナラヌ、斯ウ云フ矢先デアリマ  
スカラ、税金ノ不納同盟ガ起ル、不納同盟  
ガ起ルコトニナレバ一大事デアリマスカラ、  
放ツテハ置ケヌ、必ズ是ハ差押ヲ食フ、其  
ノ結果競賣ヲスルト云フコトニナレバ、茲  
ニ腕ヲ以テ対抗スルコトニナルト思フ、  
腕ヲ以テ対抗スルト云フコトニナレバ、遂  
ニハ片方デモ軍隊ヲ出サナケレバナラヌト  
云フコトニナツテ、茲ニ暴動ガ起ツテ參ル、  
此ノ僅カノ事カラサウ云フ一大事が起ルベ  
キ兆シニナツテ居ル、是ガ導火線ニナラン  
トスル危険ガアルノデアリマス、此ノ危険  
ガアル際ニ、斯ウ云フ人權蹂躪問題ガ起ツ  
タノデアリマスカラ、是ハ容易ナラヌコト  
ダト云フノデ、更ニ一層ノ注意ヲシテ貴ハ  
ナケレバナラヌ、唯アナタガ今日ノ質問ニ  
對シテ一應考ヘルトカ考慮スルト云フコト

○安藤政府委員　只今古島サシノ御意見ハ  
ヨク承リマシタ、將來特ニ参考ニ致シタイ  
ト思ヒマス  
○古島委員　調べテ善處スルト云フノデア  
ルガ、其ノ御返事ハ戴ケルコトト思ヒマス  
ガ、議會ノ閉會ニナル前ニ是非其ノ處置等  
ヲ承リタイト云フコトヲ註文致シテ置キマ  
ス  
○齋藤委員　一寸關聯シテ……只今古島  
君ノ御質問ヲ承ツテ居リマスガ、ソレヨリ  
先ニ刑事局長ノ御報告ハ先ニ古島君ノ御質  
問ニナツタヤウナコトハナイ、斯ウ云フ御  
調ノ御報告ノヤウニ承ツタノデアリマス、只  
驚イタ、斯ノ如キ事實ガアリマスナラバ大  
概當局ノ方デハ分リサウナモノデアル、是  
程ノコトニ對シテサウ云フコトガナイト云

ス、ソレハソレト致シマシテ、私ハ一般的二人權蹊躡ト云フコトニハ嚴罰主義ヲ以テ臨ンダ方ガ宜イト思フ、是ハ嚴罰セヌト根絶シナイト思ヒマス、選舉違反ナドノ例ヲ考ヘマシテモ、今日ハ選舉界ガ肅正サレマシテ、過去ノ選舉トハ大部趣キガ違ツテ居リマスガ、是ハヤハリ色々方法モアツタデアリマセウガ、内閣或ハ内務大臣等ノ色々ナ訓示ヤラ、サウ云フコトモアツタデアリマセウケレドモ、私ハヤハリ嚴罰主義ト云フコトガ效果ヲ奏シタ主ナル原因デアルト思フノデアリマス、人權蹊躡ナドモ先程警保局長ノ御話モアリマシテ、或ハ地方長官會議、或ハ各種ノ會議デ此ノ事柄ニ對シテ、重ネ／＼訓示ヲ致シテ居ルト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ其ノ時ダケノコトデアツテ、私ハ大シタ效果ヲ認メ得ナイト思フ、ドウシテモヤハリ嚴罰主義ヲ中心ニシテ臨ンデ戴カナケレバナラスト考ヘマス、神奈川縣ニアア云フ事件ガアリマシテ、是ハ新シイコトデアルカラ御記憶ノコトト考ヘマスガ、如何ニモ其ノ當時ノ知事ハ責任ヲ負ツテ辭メラレマシタノデ、吾々蔭ナガラ敬意ヲ表シテ居リマスガ、警察部長ハドウナリマシタカ、ソレヲ今一寸伺ツテ置キ

タイ、私ハ警察部長ト云フモノガヤハリ事件ノ中心ニナツテ、責任ヲ負ハナクテハナラナイ、神奈川縣程ノ事件ニアレバ、當然モノト私ハ思フノデアリマス、人權蹂躪ニ對シテハドウ云フ態度デ臨マレルカ、幸ヒ兩局長サンガオ居デニナリマスカラ、此ノ際人權蹂躪犯ニ對シテ臨マレル所ノ御態度ヲ、兩局長サンカラ一ツ承ツテ置キタイ

○安藤政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシテハ既ニ先程モ申上ゲマシタヤウニ、サウ云フ聲ヲ屢々耳ニ致シマスコトハ私共實際遺憾ニ存ジマス、隨テ將來ハサウ云フコトノナイヤウニ、私共出來ルダケ微力ヲ盡シタイト思ヒマス、若シ又遺憾ナガラサウ云フ事柄ノ起リマシタ際ハ十分調査致シマシテ、サウシテ其ノ輕重ニ應ジマシテ、適當ニ或ハ行政處分ヲスペキモノハ行政處分ヲシ、或ハ司法處分ニ俟ツベキモノハ司法處分ヲ俟ツヤウニ適當ニヤツテ行キタイト思ヒマス

○齋藤委員 ソレハ大體分ツテ居リマスガ私ハ選舉違反ナドモ嚴罰主義デ臨ンダカラアレ程選舉ガ肅正サレダノダト思フ、其ノ根本ノ御方針ヲ承リタイ、具體的ノコトガ起ツタナラバソレヲ調査シテ、輕重ノ度ヲ

計ラツテソレド、適當ニ處分ヲスル、是ハモウ當然ノコトデアリマス、其ノ根本ノ御考ハドウカ人權踩躡ト云フヤウナモノニ對シテハ、嚴罰主義ヲ以テ臨マナケレバナラヌ、斯ウ私ハ思ツテ居ル、其ノ點ヲ伺フノデスカラドウゾ重ネテ御答辯ヲ願ヒマス

○安藤政府委員 人權踩躡ト云フ事柄ハ、斯ウ云フ聖代ニ於キマシテ洵ニ遺憾ナコトデアリマス、其ノ點ニ付キマシテノ處分ノ方法等ニ付キマシテハ、私共ハ今後十分考究致シマシテ將來サウ云フ憂ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス、今日茲ニ具體的ニ斯ウ云フコトヲ申上ゲルマヂニ私共ノ考ハ

熟シテ居リマス、御諒承ヲ願ヒマス

○松阪政府委員 人權踩躡ノ根絶ヲ期スル爲ニハ、司法省トシテモ從來可ナリ努力ヲ致シテ居リマス、處罰ノ方針ニ付テ嚴罰ト云フ御詫デアリマシタガ、一律一體ニ總テ云フ御詫デアリマシタガ、根本ノ御方針必ズ起訴シテ嚴重ナ罰ヲ以テ臨ムト云フコトハ是ハ如何カト思フノデアリマス、ヤハリ多少其ノ點ハ犯情ニ付テ考ヘナケレバナリマセヌガ、苟モ法ヲ用ヒテ人ノ非違ヲ糾弾スル者ガ自ラ法ヲ破ルト云フコトハ、根本議論トシテハ許スベカラザルモノト私モ思フノデアリマス、隨テ大體カラ申セバ嚴重ニ處置シテ居リマス、唯是マデノ事例ヲ

御覽下サツテモ分リマスルガ、多クノ場合ニ人權踩躡ハ私利私慾ナシニ、全ク公務ニ

熱心ノ餘リヤル場合ガ多イノデアリマス、而モ尙ホ司法省トシテハ、從來之ヲ起訴スルニ躉躇シナカツタ事例ハ屢、アルノデアリマス、洵ニ人情トシテ起訴スルニ忍ビナカツタ時モ嚴重ニヤツタ例モアリマス、又犯情ノ憐ムベキ場合モアリマスルカラ、時ニハ寛大ノ處置ヲ執ルコトモアリマスルガ、大體ニ於テハ嚴重ニ處置シ來ソテ居ルノデ、將來モ此ノ點ハサウスル考デアリマス

○齋藤委員 刑事局長ノ御話ハ諒ト致シマ

ウト云フコトヲ申上ゲルマヂニ私共ノ考ハ

ス、大體嚴罰主義ヲ以テ臨ンデ居ラレル、警保局長ハ此ノ問題ハ殆ド御調査ニナルコトハナカラウト思ヒマス、今御聞キノ通リデアリマスカラ、ヤハリ嚴罰主義ヲ以テ臨マレマシテ、固ヨリ箇々ノ場合ニ於テハ緩急ノ御取計ガアラウト思フガ、根本ノ御方針ト云フモノハヤハリ嚴罰主義ナケレバナラヌト思ヒマス、之ヲ参考ニシテ戴キタイト思ヒマス

○高橋委員 私ノ質問ノ單複ヲ決定致シマス

斯ノ標準ト致シマシテ、先づ政府當局ノ

提案者ノ心持デアリマス、此ノ提案ニ對スルニシテ只今ノ現状ニ照合シテ考案スル時ニ、茲ニ幾多ノ濫用或ハ弱點ト云フヤウナ事實ヲ御認メニナツテ居ラレルカドウカト云フ點ヲ承ツテ置キタイ

○松阪政府委員 濫用ノ事實アリヤ否ヤト

云フ御尋デアリマスルガ、濫用ノ事實ガアルナラバ、是ハ何等カ處置シナケレバナラヌト思フノデアリマス、濫用ノ事實ハナイモノト心得テ居リマス

○高橋委員 驚クベキ御答デアルト考ヘラレルノデアリマス、濫用ノ事實絕對ニナシト云フ意味合デアルト思ヒマス、要スルニ行政執行法第一條ニ基イテ、サウシテ検査取ルモノデアル、先づ其ノ點デ檢査致シマレルモノデアル、而モ其ノ檢査中ニ治安維持ノ犯行ガシテ、而モ其ノ檢査中ニ治安維持ノ犯行ガシテ、アルト云フコトモ屢、經驗シテ居ルノデアリマス、唯檢査中ノ故ヲ以テ絕對ニ検査ヲ爲スアルト云フコトニ其ノ取扱ヲ致シマシタ場合、即チ司法警察官ガ聽取書ヲ作成スルト云フコト自體ガ法律ノ濫用ニナルノデアリマス、云フコト自體ガ法律ノ濫用ニナルノデアリマス、イカ、若シ此ノ點アリトスレバ、ソレハ濫用デアルト私共解釋シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ事實ガアツテモ所謂濫用デヤナイノダト云フ御解釋ノ下ニ只今ノ御答ヲナサツタノデアルカ、或ハサウ云フ事實ハ根本的ニナインダト云フ意味ノ御答辯カ、其ノ點ヲ明瞭ニ承ツテ置キタイノデアリマス

○高橋委員 行政執行法第一條ハ申スマデモナク、保護檢査デアリ、豫防檢査デアル

コトハ是ハ不動ノ意義ヲ現ハスモノデアル

テ、何トシテモ抜本的ナル制度ノ改革ヲスル外他ニ途ナシ、其ノ制度ノ一ツシテノ適用ハ本條ニ依ツテ實際ニ當嵌ル場合ノミ

テ、常ニ此ノ範圍ヲ出ヅルコトハ出來ナイ、而シテ只今ノ現狀ニ照合シテ考案スル時ニ、茲ニ幾多ノ濫用或ハ弱點ト云フヤウナ事實ヲ御認メニナツテ居ラレルカドウカト云フ

此ノ法制ノ改正ヲ致シタイト云フノガ私共提案者ノ心持デアリマス、此ノ提案ニ對スルニ躉躇シナカツタ事例ハ屢、アルノデアリル御意見ヲ伺ヒマス

○松阪政府委員 行政執行法ニ依ル檢査ヲ捜査ニ利用スルト云フコトハ、是ハ極力避

ケルベキコトハ當然デアリマシテ、其ノ點ハ司法省デモ同意見デアリマス、況シヤ之ヲ濫用スルコトハ全ク不都合ト言ハナケレバナリマセヌ、併シナガラ檢査中ノ者ニ對シテモ犯罪検査ノ必要デアルト云フコトハ、

是ハ屢、起ルコトデ、一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ例ヘバ治安維持法ノ如キ、現ニ其ノ疑ノアル時分ハ、多クハ公安ヲ害スル行動ヲ取ルモノデアル、先づ其ノ點デ檢査致シマレルモノデアル、而モ其ノ檢査中ニ治安維持ノ犯行ガシテ、而モ其ノ檢査中ニ治安維持ノ犯行ガシテ、アルト云フコトモ屢、經驗シテ居ルノデアリマス、唯檢査中ノ故ヲ以テ絕對ニ検査ヲ爲スアルト云フコトニ其ノ取扱ヲ致シマシタ場合、即チ司法警察官ガ聽取書ヲ作成スルト云フコト自體ガ法律ノ濫用ニナルノデアリマス、云フコト自體ガ法律ノ濫用ニナルノデアリマス、イカ、若シ此ノ點アリトスレバ、ソレハ濫用デアルト私共解釋シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ事實ガアツテモ所謂濫用デヤナイノダト云フ御解釋ノ下ニ只今ノ御答ヲナサツタノデアルカ、或ハサウ云フ事實ハ根本的ニナインダト云フ意味ノ御答辯カ、其ノ點ヲ明瞭ニ承ツテ置キタイノデアリマス

○濱野政府委員 御質問ニ對シテ具體的ナコトヲ申上ゲル前ニ一言申上ダタイト存ジマス、人權蹂躪ト云フコトガ絶エズアルト云フヤウナコトハ、御同様實ニ聖代ニ於テ遺憾千萬トスル所デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ申スマデモゴザイマセヌガ、一昨年、續イテ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、オ互ニ協力シテ其ノ根絶ヲ期スベシト云フノデ、大イニ議會ニ於テ努力シタノデアリマス、或ハ本會議ニ於テ人權蹂躪ニ對スル當局ノ責任ヲ糺彈シ、或ハ又委員會ニ於テ具體的ノ事實ニ依ツテ之ヲ追究シ、斯ウ云ツタ幾多ノ當時ノ事例ガ集積シテ、其ノ結果ハ昨年ノ議會ニ於キマシテ、齋藤隆夫氏ニ依ル各派共同ノ人權蹂躪ヲバ根絶スベシト云フ決議ニナツテ上程ニナツタノデアリマス、是ニ於テ先づ私達ノ考ヘナケレバナラナイ點ハ、當局ノ態度デナイカト云フ問題デアリマス、惟フニ此ノ法案ヲバ改正スト云フノデナクテ、當局ト相協力シテ實際ニ人權ノ蹂躪ヲ根絶スルノミナラズ、進ンデ人權ヲ尊重スベシト云フ實ヲ擧ゲヨウト云フコトノ現レデアルト存ズルノデアリマス、之ニ對シテハ一點又當議ガナカラウト思ヒマスルガ、惜テ然ラバ私モ議員トシテ

自ラ人權躊躇根絶ノ爲ニ大聲疾呼シタ一人  
トシテ、今日尙ホ其ノ心持ニ於テハ聊カモ  
ガドウ云フ態度ヲ執ツタカト云フコトヲバ  
暫ク考ヘテ見タイト思フノデアリマス、惟  
ニアラウト思フノデアリマス、ソコデ司法  
當局ハドウシテ居ルカト云フト、議會ノ聲  
ニ耳ヲ傾ケ、即チ國民ノ輿論ニ耳ヲ傾ケマ  
シテ、協賛ヲ經テ司法制度調査會ヲ設ケテ  
居リマス、凡ソ斯ウ云ツタコトハ一朝ニシ  
テ事ガ成シ得ラレルモノデハナイ、家ヲ建  
テ汽車ヲ走ラスト云フノデモ數箇月ノ間ヲ  
要スルノデアリマスカラ、先ヅ第一線ニ立  
ツ人達ノ心掛カラ考ヘナケレバナラスト云  
フノデ、司法制度調査會ニ於キマシテハ、  
シマスルカ、サウ云フヤウナコトニ努力ヲ  
スルヤウニ司法制度調査會ノ答申ニ依ツテ  
實現シテ居ルモノモアリマスルシ、或ハ又  
既ニ協賛ヲ經マシタ費用ヲ以チマシテ、例  
ヘバ實際ニ八箇年以上從事シテ居リマスル  
ニ招集シマシテ、或ハ犯罪ノ科學的ノ討究  
トカ、サウ云ツタコトニ依ツテ先ヅ第一線  
ニ立ツ人達或ハ之ヲ指揮監督スル人達ノ心

次ニ又人ノ心持ヲ改メルト云フコトモ必要  
デアルガ、其ノ根本ハ法規ノ改正ガ必要デ  
アルト云フノデ、約六十人ト聞イテ居リマ  
スルガ、サウ云ツタ朝野ノ人達ニ依ツテ出  
來テ居リマスル司法制度調査會ニ於テ、先  
づ法規ノ改善ヲ如何様ニスベキカト云フコ  
トデ、苦心ヲ以テ其ノ實現ニ努メヨウトシ  
テ居ル其ノ心持モ、私ハオ互ニ考へテ戴キタ  
必要ガアルト思フ、モウ一ツ考へテ戴キタ  
イト思フノハ、凡ソ政治ノ效果ニ付テハ、  
コンナコトヲ申スノハ、ソレコソオ釋迦様  
ニ説法デアルカモ知レマセヌケレドモ、其  
ノ結果ガ有トナツテ現ハレルガ、宜イ場合  
ト無トナツテ現ハレルガ宜イ場合トアル、  
例ヘバ助長行政ノ如キハ一ツノ具體的ノ結  
果ガ現ハレル時ニ於テ初メテ政治ノ效果モ  
アリ、議會ノ努力ガ現ハレテ來ル、之ニ反  
シテ無クナツタト云フコトニ依ツテ、若ク  
ハ無ニ近イト云フコトニ依ツテ其ノ努力ガ  
現ハレル場合ガアリマス、人權ノ尊重ト云  
フヤウナコトハ有ルト云フコトニ於テ現ハ  
レルモノデハナイ、人權蹂躪ト云フコトハ  
無イト云フコトニ依ツテ私ハ議會ト云フモ  
ノノ權威ガ現ハレルト思フ、ソコデ先ヅ考

ヘタイノハ、昨年齊藤隆夫氏ガ起タレテ各派  
共同ノ決議案ガ出ルマデニ於テハ、人權蹂  
躪ノ聲、非難囂々タルモノアリ、天下其ノ  
聲滿チテ到ル處ニ其ノ實例ガアツタノデゴ  
ザイマスルガ、楮テ然ラバ其ノ後ニ何等ノ  
效果ナカリシカト言ヒマスルト、一概ニナ  
カツタトハ言ヘナイ、議會ノ決議ハ大イニ  
當局ノ反省スル所トナリマシテ、之ヲ積極  
的ニハ司法制度調査會ノ設立トナリ、法規  
ノ改善ヲ實現シヨウトシテ著々進メルト共  
ニ、一面無イト云フ形ヲ取ツテ現ハレマシ  
テ、人權蹂躪ノ聲ハ段々ト無イ方ニ近寄リ  
ツツアルト云フ事實モ、是ハ私ハ大イニ肯  
定シナケレバナラヌト思フ、ソコデオ互ニ  
考ヘタイノハ、政治ト云フモノハ今直チニ  
中ニハ辯護士諸君モアリ、議員諸君モ居ラ  
レテ、眞剣ニ努力セラレテ、御希望ノヤウ  
ナ法規ノ改善ニ努メ、或ハ法ノ形ヲ整ヘル、  
一面又人權蹂躪ト云フ聲ガ、段々ト無イ方  
面ニ近付キツツアルト云フコトカラ考ヘル  
ト積極消極、有ト無ト兩方面ニ於ケル朝野  
當局ノ方面ニ於テモ眞剣ニ議會ノ聲ニ耳ヲ

傾ゲテ居ルト云フ此ノ眞劍味ニ對シテ議會ノ方達ノ十分ナル御諒解ト、サウシテ若シ御心持ヲ以テ此ノ問題ヲバ御檢討下サルナラバ、或ハ天下不祥ノ事件ガ一二アリ、一ニシテ足リズ三四アリ、三四ニシテ足リズ四五アリトシマシテモ、十アリシ時ニ比ベマスナラバ、ソレハ無ノ方ニ近付キツツアルノデハナカラウカ、私ハ人權蹂躪ノ問題ヲバ非難シ追究シマシタガ、箇々ノ問題ニ付テハ餘リ舉ゲルヤウナコトハナカツタメアリマスガ、此ノ議會ニ於キマシテ、此ノ問題ヲバ考究シマス毎ニ今申シタヤウナ心持ニ打タレテ居リマスノデ、此ノ點私ノ心境ヲ政府ノ當局トシテ申上ゲル次第デアリマス

私共同感ニ感ズルノデアリマス、唯政府當局ガ行政執行法ノ第一條ノ濫用ガナイノダト云フ認識ノ下ニ此ノ法案ニ對セラレルナラバ、私共ハ大聲疾呼シテ其ノ認識ノ是正ニ當ラナケレバナラナイト云フコトダケハハツキリ茲ニ申上ゲテ置キタイ、私共ハ徒ニ政府當局ヲ責メマセヌ、徒ニ聲ヲ大ニシテ賣名呼ハリヲセラレルヤウナ下卑ナ考ハ持ソテ居リマセヌ、本當ニ人權ヲ擁護シナケレバナラナイ、本當ニ人權ヲ尊重シナケレバナラナイ、此ノ一ツノ基調コソ本當ニ國家百般ノ善政ノ根源デアルト云フコトヲ信ズルガ爲ノ其ノ血ノ逆リニ過ギマセヌソコデ私ハ日本辯護士協會ニ宛テマシタ數多其ノ苦痛ヲ訴ヘテ來テ居ル種々ナル報告陳情ト云フモノガアルノデスガ、其ノ中ノ唯一ツダケヲ、殊ニ全體ヲ委員長ノ御許シヲ得テ讀上ゲルコトハ時間ノ關係上如何カト存ジマスカラ、其ノ結論ダケヲ茲ニ讀上ゲテ御参考ト致シタイ、是ハ最近ノモノカラ一ツダケ舉ゲマス、昭和十四年三月ノ十七日東京辯護士會所屬林圓力辯護士ガ親シク日本辯護士協會ニ向ツテ上申ヲ致シタモノデアリマス、其ノ見出シハ「八木檢事竝ニ川口警察署ノ人權蹂躪ノ申告」ト云フ題目ニアリマス、「東京市瀧野川區中里町三百

七十五番地、甲被害者青野大和、同ジク  
河村直次、場所埼玉縣川口警察署、加害關係者同署長、同署司法主任久保某、同ジク  
刑事都留某、浦和地方裁判所次席檢事ハ八  
木彦内」以下事實ヲ述ベテアリマスガ、只  
今申述べタ理由デ此ノ事實ノ全般ヲ省略致  
シマス、斯様ニ結論ヲ申告サレテ居ルノデ  
アリマス「取急キ概要ヲ報告仕候、甲等ニ  
對スル犯罪ノ有無ハ別トスルモノ百六十餘日  
何等ノ取調ヲモナサヌ甲等ニ精神上物質上  
(數万圓ノ損害)多大ノ損害ヲ蒙ラシメテ何  
等ノ犯罪事實ヲ發見セス已ムナク釋放スル  
カ如キ帝都近クニ於テハ到底默過スヘカラ  
サル人權蹂躪ノ最タルモノト思考シ八木檢  
事、警察署長、司法主任、刑事及巡查ヲ明  
示シ之ガ責任ノ有無御取調相成度候也、日  
本辯護士協會人權蹂躪調查委員會御中」此  
ノ生々シイ事實、而モ此ノ苦痛ヲ憇ヘル青  
野ト云フ者ハ、君國ノ爲ニ第一線ニ立ツテ  
名譽ノ負傷ヲシテ歸還シタ人ダト云フコト  
デアリマス、ソレヲ捕ヘテ是ダケノ長期間  
ノ一ツヲ以テモ、何ノ法文ニ基イテ一體百  
六十餘日モ勾留ヲシテ置イタカ、是ハ言フ  
交渉ヲスル機會ガアラウト存ジマスガ、此  
ヲ待タヌ、行政執行法第一條ニ據ル外ニ方

法ガナイコトハ極メテ明瞭デアリマス、國民ガドノヤウニ一體考ヘテ居ルカト云フコトヲ、是モ序ニ政府當局ニ申上ゲテ御参考ニ資シテ置キタイ、是ハ同ジク日本辯護士協會ニ懇ヘテ來タ手紙デアリマス、此ノ手紙モ可ナリ長ウゴザイマスカラ、其ノ中心トナルベキ點ダケラ私ハ委員長ノ御許ヲ得テ讀上ゲテ置キタイ、「富山縣射水郡二塚村青木孝恒外一同」トアリマス、其ノ中最モ吾々ノ血ト涙ヲ以テ考ヘテヤラナケレバナラナイト思フ其ノ點ヲ此處ニ讀上ゲマス「吾々無辜ノ冤罪ニトラワレテ足カケ三ヶ年間ニ亘リ二回迄デツチ上ゲラレシ罪名ニヨツテ刑事被告ノ烙印ヲツケラレタルノミニテ何等ノ報仇モ出來ザル不公平ナル現状ニ悲憤ノ涙ニクレ居ル者ニ候國家非常時國民精神總動員ノ秋ニアタリカカル銃後ノ不祥事件ヲ作リアゲテ純朴ナル農民ヲ苦シメテ平然トシテソノ官職ニ居リ甚敷ハ榮轉セルガ如キハ實ニ國民トシテ不可解千万ノ事、事ノ原因ヲ極メ是非ノ判断ヲセラル國法ノ威信テ參ツテ居ルノデアリマス、所謂純情ニ基ク此ノ懇ヘ「國民ノ一角ニ斯ノ如キ憤リト呪ヒトヲ持ツテ居ル者ノアルト云フコトヲ眞劍ニ考ヘナケレバナラヌト思フ、左様ニ考

テ居ツタナラバ日常茶飯事ノ如クニ人權  
蹊躡ノ問題ヲ迎ヘテ居ル譯ニハ參ラヌト思  
フ、常ニ人權蹊躡防止ノ爲ニ或ハ訓令ヲ出  
シ、或ハ指導ヲシタト云フコトヲ仰シヤル、  
併シ其ノ訓令指導ト云フモノハ絶對ニ效果  
ナシ、逆行シテ居ルト云フヤウナ極端ナコ  
トハ勿論申シマセヌ、併シナガラ何トシテ  
モ絶エナイ、此ノ絶エナイトヲアナタ方  
ト協力シテ、本當ニ根柢カラ防止シナケレ  
バナラヌト思フ、其ノ根柢防止ノ本當ノ拔  
本塞源的ナ法規トシテ、私共ハ此ノ案ヲ出  
シタノデス、之ニ對シテ俄ニ贊成シ難イト  
云フコトノ意味ガマダ明瞭デハナイ、十分  
御考慮ニナツテノコトナラバ是ハ別問題デ  
アリマスケレドモ、唯俄ニ贊成シ難イト  
云フコトダケノ御言葉ヲ以テハ吾々ハ満足  
スルコトハ出來ナイノデアリマス  
ソコデ更ニ改ヌテ私ノ御尋申上ゲタイコ  
トハ、各種ノ角度カラ此ノ根絶ア策ヲ執ラナ  
ケレバナラヌト思フノデアリマスガ、他ノ  
委員カラモ其ノ趣旨ノコトヲ仰セニナツ  
タ、暴行凌虐爲スベカラズト云フコトハ現  
行手續法ニ明記シテアル、所ガ其ノ厲行ト  
案ニ對シテ其ノ蹊躡ノ事實ヲハツキリシタ  
云フコトガ中々行ハレマセヌ屢起ツタ事  
ニ拘ラズ(或ル役人ノ一定數程度ノ行政處分

位デ一時ヲ糊塗セラレ、ソレデアトハ謂ハバ知ラヌ顔ノ半兵衛デアル、是デハ到底根絶ヲスルコトハ出來ナイ、所デ私共考ヘルノハ、此ノ根絶ノ一つノ方法トシテ、斯ウシタ暴行凌虐ヲ爲シタ者ニ對シテ所謂起訴機關ノ特設、是ガ私共ハドウモ必要ダト思フ、現在ノ機構ノ下デハ仲間同志ノ起訴ハ出來マセヌ、部下ノ起訴ハ行ハレマセヌ、隨テ一時人權蹂躪ヲ叫ンデモ、其ノ結果へ有耶無耶ニ葬ラレルコトハ自然ノ理敷デアルトモ考ヘラレル、ソコデ當局ハ此ノ實情ニ特ニ鑑ミル所アツテ、是等ノ人々ニ對スル暴行凌虐ヲ爲シタ人々ニ對スル起訴機關ノ特設ト云フコトヲ、所謂現在ノ司法機構ニ對シテ、斯カル行ハレル御意向ガナイカドウカ、若シ只今御無禮ナガラ局長サンダケシカ御見エニナツテ居リマセヌカラ、今俄ニ御答ガシ難イト云フコトデアリマシタナラバ、適當ノ機會デ宜シウゴザイマスガ、其ノ點ヲ承ツテ置キタイ

シテ、俄ニ賛成シ難イト云フ當局ノ考ヘ方ハ、先程縷々申上ゲマシタ通り、當局ニ於キマシテモ人權尊重ノ實ヲ尙ホ一層提ガナケレバナラスト云フ議會ノ聲ニ耳ヲ傾ケ、國民ノ叫ビニ耳ヲ傾ケマシテ、其ノ結果ガ、度々同ジ言葉ヲ繰返スヤウデゴザイマスガ、司法制度調査會ニナツタノデアリマス、是ハ言フマデモナク法ノ運用ハ人ニアリマスケレドモ、併シナガラヤハリ人ガ頼ル所ノ根據ハ法デアリマスカラ、先ヅ其ノ法ノ運用ヲ掌ル人々ノ心持モ大ニ期待ヲ持タナケレバナラナイト同時ニ、御言葉ノ通リヤハリ運用スル人々ノ持ツテ居ル所ノ寶ハ法デアリマスカラ、此ノ法ヲ何トカシテ改善スベキ必要ガアルト云フコトヲ認ヌマシテ、折角今司法制度調査會ニ於テ研究中デアリマス、寶ハ斯様ナコトハ一日ヲ急ニヤツタラ一日ニ濟ムト、其ノ日ニ效果ガ分ラナケレバナラナイ程ニ早急ニ實現シナケレバナラナイト云フ心持ヲ以テ、議會中ニデモ急イデ調査會ノ委員會ヲ招集シタイト云フヤウナ心持ハ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、何分政務多端デ議會中ニハ左様ナ運ビニハナリマセヌガ、御尋ノ御趣意モ尊重致シテ居リマス、ソレハ早急ニ唯一ツノ法規ノ改善ト云フコトヨリモ、寧ロ有

ユル角度カラ検討シテ、本當ニ人權ヲ尊重スル實ヲ尙ホ一層昂揚スル爲ニハ、ドウ云ヤウナ方面カラ、ドウ云ツタ法律ヲドノ之ニ代ルベキ案ハドウ云フモノデアラウカト云フコトヲバ、朝野ノ有識者六十人ヨリ成ル委員會ニ於テ、今現ニ検討中デゴザイマスルカラ、御趣意ノ點へ能ク其ノ委員會ニ傳達致シマシテ、十分ニ研究、検討ノ資料ニ致ス心持ヲ持ツテ居リマス、ソレ故ニコソ唯一ツノ法律ノ改廢、ソレモ大切デアルト共ニ、又他ノ方面ニモ大イニ考究シテ、アナタノ今ノ御言葉ニ應ヘルヤウナ改善ガ圖ラレルノデハナカラウカ、斯ウ云フ心持ヲ以テ、司法制度調査會ノ諸問ニ對スル答申案ヲ待ツテ居ルヤウナ譯デゴザイマスルカラ、ソレデ唯單ニ今直チニ御答申シテ、贊成スルコトハ出來ナイト云ツタヤウナ心持デアリマス、當局ニ於テハドウカシテ此ノ法規ノ改善スペキ點ガアルナラバ改善シ、改廢スベキ點ガアルナラバ改廢シテ、サウシテ成案ヲ得タイト云フコトニ付テハ御同様、本當ニ眞剣ナ立場デ居ルノデゴザイマスカラ、局長カラ俄ニ贊成シ難イト申シマシタノハ、サウ云フモノト相俟ツテ、本當ニ御期待ニ副ヒタイト云フ心持ヲ現ハシタ

ニ過ギナイノデアリマス

○高橋委員 大體ニ於テ政府ノ御意向ハ、

御方針トシテハ私共ノ考ト相去ルコト遠カ

ラズト考ヘマス、是レ以上質疑ヲ重ネルコ

トハ、私此ノ場合ハ致サヌ積リデアリマス、

唯最後ニ司法制度調査會ト云フモノニ對ス

ヨリ仰セノ如ク、數十名ノ朝野ノ俊髦ヲ網

羅シテ、ソレベノ調査檢討ヲ爲サレテ居

ル日夜ノ勞苦ニ對シテハ、私共蔭ナガラ敬

意ヲ表シテ居ル者デアリマス、唯全面的ニ

基礎的ナ大規模ナモノヲ作り上ガルト云フ

コトハ、是ハ中々容易ノ業デハナイ、併シ

ナガラ問題ニ依ツテハ、即行是レ即チ金ダ

ト云フモノモ、勿論其ノ中ニハ相當アル

ト思フノデス、全體ノミノコトヲ考ヘテ、

瞭目彌久ノ結果ニ陥ルコトハ、吾々ノ欲セ

ザル所デアリマス、其ノ一部ヲ捉ヘ來ツテ

モ、火急ノモノ、即決ヲ尊ブモノ、サウ云フモ

ノニ對シテハ、餘リ議論倒レニ終ラヌヤウ

ニ、論議ノ上下ニ日ヲ送リ過ギナイヤウニ、

サウシテ本當ニ實行ニ移シテ戴キタイ、所

謂世ノ中カラ或ハ日ヲ送リ過ギナイダト云フヤウナ事

柄ヲ以テ之ヲ迎ヘラレザルヤウニ馬力ヲ掛

ケテ戴キタイ、本當ニ實現性ヲ取急イデ現

ハスヤウニシテ戴キタイ、サウ云フコトヲ

希望致シマシテ私ノ質問ヲ一應終リマス

○濱野政府委員 御言葉ノ御趣意全ク御同

感デゴザイマス、言フマデモナク吾々法規

ト云フモノヲ中心トシテ生活スル時ニ當ツ

モノモアリマスト共ニ、或ハ法規ノ部分部

分ヲ改善シテ、サウシテ御互國民生活ノ進

展ヲ圖ラウト云フ兩者ガアルト存ジマスノ

デ、此ノ司法制度調査會ニ於テ、法規ノ改

善ヲ要スル點ガアルナラバ、ドウ云フ

點デアルカト云フコトモ、或ハ部分々々

的ニ檢討スルモノモアリマセウシ、或ハ

全體トシテ纏メテ檢討スルモノモアラウ

ト思ヒマスガ、ヤハリ結論ハアナタト同

ニナルダラウト思ヒマス、尙ホ私先程カ

ラ申上ゲマシタ言葉ノ中ニ誤解ガアツテハ

イケマセヌカラ、一言申上ゲマスガ、私ノ

ハ、人權蹊躡ト云フ事實ノ有無ト云フコト

ヲ、私ハ言フノデハナクシテ、世上ノ人權

蹊躡ニ對スル呪咀ノ聲ガ以前ヨリハ徐々ニ

ナクナリツツアルト云フコトデアツテ、呪

ヲ、ハツキリト政府ノ當局ハ銘記シテ置イ  
ルコトハ吾々ハ欲シマセヌ、寧ロアルナラ  
アルト云フコトヲ明確ニ仰シヤツテ、サウ

シテ本當ニ根本的ナ、本質的ナ改善ニ向ツ

テ共ニ力ヲ協セヨウト云フコトデ、私共ハ

満足ガ出來ルノデアリマス、人權蹊躡ノ事

實ノアルト云フコトハ、最早萬人悉ク認メ

テ居ル、然ルニソコニ獨リ政府ノミガ言葉

ノ末端ニ囚ハレテノ御答辯ヲナサルト云フ

コトニ付テハ、誠意ノ上カラ私遺憾ヲ感ズ

ル者デアリマス

私ハ最後ニ申上ゲマス、國民ハ斯ウ云フ

心構ヘデ居リマス、何カデ捕ハレタナラバ、

疑雲ヲ霽スニハ死ヌルカ、然ラズンバ屈辱

ヨリ外ニ途ハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルコト

ヲ、ハツキリト政府ノ當局ハ銘記シテ置イ

テ戴キタイ、ソレデアルカラ靜カナヤウデ

モ、沈黙シテ居ルヤウデモ、其ノ内部ニハ

デモアリ、憤デモアリ、而シテ怨嗟デモア

リ、呪咀デモアル、斯様ニ私ハハツキリ申

上ゲ得ルト確信スル、此ノ實情、是等カラ

割出シテ、寧ロ只今ノ所ハ、思想ノ惡化ハ

私共ハ申シマセヌ、無論此ノ司法ヨリト云  
フコトニ付テハ、行政方面、警察方面ノ人  
權蹊躡ト云フモノガ、少クモ其ノ重大ナ役  
割ヲ成シテ居ルコトハ、是亦見逃スベカラ  
ザル事デアルコトモ、何卒御承知ヲ願ヒタ

イ、私ハ以上ノ言葉ヲ以テ、眞劍ニ協力シ  
テ此ノ根絶ヲ期シタイ、斯ウ云フ氣持ヲ持

ツテ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ政府モ  
虚心坦懐ニ釋然トシテ——私ノ乏シキ經驗

ヲ以テ致シマスレバ、ドウモ議員提出ノ議  
案ニ對シテ、政府ガ卒然トシテ同意ノ意思

表示ヲサレタト云フコトハ、前例ガナイノ

デアリマス、サウ云フコトデハ私ハドウモ

本當ニ國事ヲ談ズル相手ニハナラヌト思

フ、是ハ是トシ、非ハ非トシテ、本當ニ現

在ノ時局ニ適切ナルモノデアルナラバ、何

故ニ虛心坦懐ニ議員ト協力スルコトノ態度

ヲ御執リニナラヌカト云フコトデアリマス、

ドウカ革新政策ヲ叫バレル今日、本當ニ傳

統ト云フモノノ膠著ヲカナグリ捨テテ、サ

ウシテ本當ニ清新激刺ノ革新ノ制度ニ出デ

ナケレバナラナイ現在ニ於テ、本案ニ對シ

テ兔ニ角政府ノ心構ヘ、態度ト云フモノニ

付テ、十分眞剣ニ御檢討アルコトヲ希望致

シマス

○一松委員 私ハ此ノ法案ヲ出シマシテ、

サウシテ是非是ガ達成ヲ期シタイト云フ所  
以ノモノハ、内務省ノ犯罪捜査ニ關係アル  
人々ヲ糾弾シ、若クハ犯罪檢舉ノ地位ニア  
ル檢事局ヲ糾弾シヨウト云フヤウナ考ハ、  
微盡モ持ツテ居リマセヌ、私ハ唯國事ヲ憂  
フルノ餘リ、斯ノ如キコトガ頻々トシテ行ハレ  
ツツアルノデアル、刑事局長ハサウ云フコト  
ハ認メナイト仰セニナリマシタガ、サウ云  
フ言葉ヲ御用ヒニナルト、國民ハアナタノ  
言葉ニ對シテ憤激ヲ禁ジ得ナイノデアリマ  
ス、今斯ノ如キ具體的ナ事實ガアルトカ、ナ  
イトカ云フコトデアレバ——アナタノ只今  
ノ御言葉ニ依ツテモサウ云フ事實ガナイト  
否認ハ出來マスマイガ、今日警察官ガ犯罪  
捜査ヲ爲スニ當リマシテ、所謂行政執行法  
ノ一條ヲ濫用シテ、不當ニ之ヲ檢束シテ取  
調ニ從事シテ居リマスルコトハ、是ハモウ  
顯著ナ事實デアル、有ルカ無イカノ事ヲ若  
シ詮議立テスルナラバ、アナタガ即刻只今  
警視廳ノ地下室ニオ出デニナツテ御覽ニナ  
ルト直グ分ルノデアリマス、併シサウ云フ  
コトヲ私ハ此處ニ聲ヲ大ニシテ糾弾シタク  
ハナイ、サウ云フコトヲ現ニヤツテ居ルコ  
トガ、吾々ハ實ニ憂慮ニ堪ヘナイカラ、之  
ヲドウカシテ根絶シタイ、斯ウ云フ氣持デ  
年々歲々、是ガ根絶ニ關スル決議案ヲ出し、

法律ノ改正案ヲ出シマシテ、サウシテ吾々  
ハ今日ニ至ルマデ努力シテ居ルノデアリマ  
ス、デアリマスカラ只今ノ人權躊躇ノ事實  
ハナイノダト云フヤウナ御言葉ハ、是ハ私  
フルノ餘リ、斯ノ如キコトガ頻々トシテ行ハレ  
ツツアルノデアル、刑事局長ハサウ云フコト  
ハ此ノ席ニ於テアナタニ御取消ヲシナサイ  
ト云フヤウナコトモ言ヒマセヌ、ケレドモ  
是ハ一つ大ニイ御反省ヲ願ツテ置カナケレ  
バナラスト思フ、實際アルノデス、ソレバ  
カリデハナイ、私ガ特ニ憂慮ニ堪ヘナイコ  
トハ、過般國鐵事件ノ東京刑事地方裁判所  
ノ公判ニ於キマシテ、警視廳ノ土田警部、  
警察吏ノ數名ガ、證人トシテ現レマシテ、宣  
誓ノ上證言シタ其ノ言葉ノ中ニ、行政執行  
法ニ依ツテ、犯罪ノ嫌疑者ヲ警視廳ニ連レ  
テ來テ、サウシテ之ヲ地下室ノ留置場ニ入  
レテ、其ノ調ノ濟ムマデ引出シテ調ベルト  
云フコトハ、警視廳傳統的ニ行ハルル慣習  
デアル、警視廳ノ犯罪捜査ニ關係シテ居ル  
人デ、是ガ違法デアルト云フガ如キコトヲ  
考ヘテ居ル者ハ一人モナイ、斯ウシナケレ  
バ吾々ハ犯罪ノ捜査ガ出來ナイノダ、故ニ  
私共ハ斯ウ云フ手段方法ニ依ツテ人々ヲ連  
レテ來テ調ベル、行政執行法ニ依ツテ其ノ  
人ヲ檢束シテ調ベル、翌日ノ日没前ニ出セ  
ト云フコトガ、行政執行法ニアルケレドモ、

サウ云フコトヲスルト、犯罪捜査ガ出來ナ  
イカラ、私共ハ其ノ捜査ガ完了スルマデ、  
ス、デアリマスカラ只今ノ人權躊躇ノ事實  
ハナイノダト云フヤウナコトニ付テ何カ書面ノ訓示デ  
之ヲ入レテ調ベルノデアル、之ヲ今更不法  
呼バハリヲサレルト云フコトハ、私共迷惑  
ト云フヤウナコトモ言ヒマセヌ、斯ノ  
は一大ニイ御反省ヲ願ツテ置カナケレ  
バナラスト思フ、實際アルノデス、ソレバ  
カリデハナイ、私ガ特ニ憂慮ニ堪ヘナイコ  
トハ、過般國鐵事件ノ東京刑事地方裁判所  
ノ公判ニ於キマシテ、警視廳ノ土田警部、  
警察吏ノ數名ガ、證人トシテ現レマシテ、宣  
誓ニナレバ、間違ヒノナイコトデアル、現  
ニ公判ノ速記録ト云フモノガ出來テ居リマ  
ス、是ハ代議士ノ關係シテ居リマスル人々  
ヤ、辯護士デアル代議士諸君ノ手許ニ、其  
ノ關係辯護士カラ一々送達サレテ居リマス、  
現ニ其ノ事ハ私ト土田警部トノ質問應答ニ  
依ツテ交サレタ言葉デアリマスカラ、是ハ  
間違ヒアリマセヌ、サウ云フコトガ私共ニ  
非難ニ憂慮ニ堪ヘナイ、ソコデ私ハ左様ナ  
事ハ代々ノ司法大臣、並ニ内務大臣ガ訓令  
ヲ發シテ、行政執行法ニ依ツテ檢束シタ者  
アル代議士ガ、先月議長官舍ニ、貴衆兩院  
ノ議員及び在野ノ有力ナル法曹ガ集ツテ、  
色々慎重審議シタ結果、之ヲ一つ法律案ノ  
改正案デモ出シテ、當該監督官廳ノ人ノ  
シメルヤウニ努力シヨウデハナイカト云フ  
コトデ、今一應治マツテ居ルノデス、ソレデ  
此ノ案ハ各派ノ共同提案ニハナツテ居リマ  
セヌガ、各派ノ有力代議士三百有餘名ノ人ガ  
之ニ賛成シ、各派ノ有力者五十人近クノ人ガ  
提案者トシテ之ヲ提案シテ居ル、其ノ趣旨

ト言ツタラ、ソンナコトハ知リマセヌ、サ  
ウ云フヤウナコトニ付テ何カ書面ノ訓示デ  
之ヲ入レテ調ベルノデアル、之ヲ今更不法  
呼バハリヲサレルト云フコトハ、私共迷惑  
ト云フヤウナコトモ言ヒマセヌ、斯ノ  
は一大ニイ御反省ヲ願ツテ置カナケレ  
バナラスト思フ、實際アルノデス、ソレバ  
カリデハナイ、私ガ特ニ憂慮ニ堪ヘナイコ  
トハ、過般國鐵事件ノ東京刑事地方裁判所  
ノ公判ニ於キマシテ、警視廳ノ土田警部、  
警察吏ノ數名ガ、證人トシテ現レマシテ、宣  
誓ニナレバ、間違ヒノナイコトデアル、現  
ニ公判ノ速記録ト云フモノガ出來テ居リマ  
ス、是ハ代議士ノ關係シテ居リマスル人々  
ヤ、辯護士デアル代議士諸君ノ手許ニ、其  
ノ關係辯護士カラ一々送達サレテ居リマス、  
現ニ其ノ事ハ私ト土田警部トノ質問應答ニ  
依ツテ交サレタ言葉デアリマスカラ、是ハ  
間違ヒアリマセヌ、サウ云フコトガ私共ニ  
非難ニ憂慮ニ堪ヘナイ、ソコデ私ハ左様ナ  
事ハ代々ノ司法大臣、並ニ内務大臣ガ訓令  
ヲ發シテ、行政執行法ニ依ツテ檢束シタ者  
アル代議士ガ、先月議長官舍ニ、貴衆兩院  
ノ議員及び在野ノ有力ナル法曹ガ集ツテ、  
色々慎重審議シタ結果、之ヲ一つ法律案ノ  
改正案デモ出シテ、當該監督官廳ノ人ノ  
シメルヤウニ努力シヨウデハナイカト云フ  
コトデ、今一應治マツテ居ルノデス、ソレデ  
此ノ案ハ各派ノ共同提案ニハナツテ居リマ  
セヌガ、各派ノ有力代議士三百有餘名ノ人ガ  
之ニ賛成シ、各派ノ有力者五十人近クノ人ガ  
提案者トシテ之ヲ提案シテ居ル、其ノ趣旨

ハ即チ茲ニアル、私共ハ今其ノ人權蹂躪ノ事實ガアルトカ、ナイトカ云フコトハ茲ニ論ジタクハナイ、アルコトハ決ツテ居ル、只今濱野參與官ノ言ハレマシタヤウニ、吾議員ト政府トガ互ニ手ヲ握ツテ、斯ノ如キ不法ノ處置ヲ根絶スルヤウニ努力シタイ、ソレガ此ノ案ノ現ハレタ理由デアル、ソレニ對シマシテ參與官ノ御話ノヤウニ、司法制度ノ改革ニ關スル委員會ト云フモノガ、朝野ノ識者ヲ網羅シテ行ハレツツアルカラ、何レ此ノ問題ニモ觸レルコトガアツデ、大イニ刮目シテ見ルベキ政策ガ實現スルコトモ、餘リ遠クハアルマイト云フ其ノ御言葉ニ、吾々ハ大イニ贊意ヲ表シ、之ヲ歎迎スルノデアリマス、併シソレデハ私ガ今日毎日毎時間行ハレテ居ル此ノ現實ノ事實申シマシタヤウナ警視廳ノ地下室ニ於テ、毎日毎日毎時間行ハレテ居ル此ノ現實ノ事實ヲ、直チニ芟除スルニハ間ニ合ハナイノデス、ソレデハドウシタラ宜カラウカト云フコトデ、色々考ヘテ案ヲ練ツタ結果、取敢ヘズ此ノ刑事訴訟法ニ、檢束中ノ者ニ對シテ捜査ヲ爲スコトヲ得ズト云フ禁止規定ヲ置イタナラバ、今ノヤウナ犯罪捜査ノ目的一時デモ早ク防止スルコトガ出來ル、而シテ其ノ防止シテ居ル期間中ニ、今仰セニ

ナリマシタ司法制度改善ノ審議會ニ於テ、ヨリ以上ノ良イ方法ガ生レテ、ソレニ依ツテ斯ノ如キ不法不當ノ検束ヤ捜査ヲシナイヤウニナレバ結構デアル、斯ウ云フ經過的ノ意味ニ於テ、吾々ハ之ヲ多數ノ人ノ贊成ヲ得テ提案シタノデアリマス、今刑事局長ノ仰セニナリマシタヤウニ、行政檢束ニ依ツテ檢束シテ居ル者カラ、捜査ガ出來ナイコトニナレバ、大變ナ不都合ガ出來ルノデハナイカ、ソレハ私共モ認スマスケレドモ、刑事局長ノ御援用ニナリマシタ所ノ、例ヘバ治安維持法ノ違反ノ如キ犯人ハ、行政檢束シタ時ニ、是ガ發覺シテ其ノ取調ベヲシテ、檢舉ノ目的ヲ達シタコトガアルデハナイカ、トガ出來スト云フコトハ、サウ云フ不便モアルノダカラ、今直チニ贊成スルコトハ出来ナイ、ソレハ確ニ一理アル、ケレドモ私ハ一旦此ノ治安維持法違反ノ被疑者ニアリマシテモ、ヤハリソレハ行政執行法ノ第一條ニ依ルナラバ翌日ノ日沒マデニハ之ヲ釋放シナケレバナラヌ、釋放スルト調べガ出來ヌト云フナラバ、刑事訴訟法ニアル所ノ強制處分ノ方法ニ依ツテ、之ヲ強制留置シテ十日ノ間ニ調べテ、尙ホ是ハ犯罪捜査ノ必要アリト云フ見込ガ付ケバ、直チニ起

訴シテ豫審ノ調ベニ廻シ、サウシテ證據ガ  
舉ラナカツタナラバ豫審デ免訴スレバ宜シ  
クナリ、豫審判事及ビ檢事ノ成績ニ影響ス  
ルト云フヤウナコトノ爲ニ、所謂脫法的ナ  
行政執行法ノ濫用ト云フコトガ、今日行ハ  
レテ居ルコトハ、私ガ説明スルマデモナイ、  
アナタ方ハ能ク御存ジノ所デアル、ソコデ  
此ノ行政執行法ノ檢束ト云フコトヲ全ク廢  
メルト云フコトニナルト、犯罪ノ検査ハ出  
來ヌデハナイカ、ソレハ御尤デス、其ノ通  
リ、思フヤウニ出來マセヌ、ソコデ然ラバ  
ドウスレバ宜イカ、ドウシテモ検査機關ニ  
對シテ或ル權力ヲ與ヘ、身柄ヲ拘束スルダ  
ケノ權能ヲ與ヘナケレバナラヌデハナイカ、  
其ノ事ニ付テモ吾々ハ大ニ考慮シテ居ルノデ  
アリマス、ソレガ所謂列舉主義ニ依ルベキカ、  
或ハ列舉主義ニ依ラズシテ罪質ニ依ルベキ  
カ、或ハ期間ニ依ルベキカ、色々ナコトニ付  
テ論議ハアリマセウガ、サウ云フヤウナ警察  
官ヤ檢事ニ權力ヲ與ヘルト云フコトハ、是レ  
以上ニ人權蹂躪ヲ繁カラシムルガ故ニ反對ダ  
ト云フ聲モ隨分多イ、然ラバサウ云フヤウ  
ナコトヲ言ウテ居ル人ニ、ソレデハ犯罪ノ  
檢舉ハセヌデモ宜イノカト云フト、ソレハヤ  
ハリセナケレバナラヌト言フ、ソレガヤハ

リ司法制度改善委員會ニ於テ所謂甲論乙駁  
デ、未ダ決シナイ所以デアラウト私ハ察ス  
ルノデアリマス、デスカラサウ云フコトニ  
付テオ互協力シテ、何トカ之ヲ改正ショウ、  
其ノ代リニ行政執行法ノ濫用ハ防グヤウニ  
シマセウト云フコトデアレバ、私共ハソレ  
カラ御提出ニナラナイ、ソレハ色々非難攻  
撃ガアルガ故デアリマス、幾々非難攻撃ガ  
アリマシテモ、ソレ以外ニ之ヲ打開スル途  
ガナイノダト云フコトニナレバ、必ズシモ  
其ノ案ガ通ラヌトハ考ヘテ居ラヌノデアリ  
マスケレドモ、是ハマダ十分ノ成案ガ出  
來ナイ、成案ガ出來タ上ハ大イニサウ  
云フ方面ニモ努力シヨウト云フ政府當  
局ノ御意思ノアル所ハ、私ハ何處マデ  
モ尊重シマスガ、ソレガ出來ル間一寸ノ  
間デモ人權尊重ト云フ立場カラ是ガ必要デ  
ハナイダラウカ、是レ以外ニ方法ハナイ  
デハアリマセヌカ、ソレデ私共ハ皆相談ノ  
結果兎ニ角經過法トシテ之ヲ出シテ、少ク  
トモ此ノ議案ヲ審議スルコトニ依ツテ、政  
府當局ガソレハ實ニ困ツタモノダ、何トカ  
之ヲ一ツ改メテ防ガナケレバナラヌ、又サ  
ウ云フコトヲスル者ニ對シテハ政府モ嚴罰

ヲ以テ臨マナケレバナラスト云フコトガ、  
警察官ノ耳ニ入リマスレバ、或ハ犯罪捜査  
ノ鉢ガ鈍ルカモ知レマセヌ、併シナガラ人  
權蹊躡ハ出來ヌト云フコトニナレバ、多少ソ  
コニ緩和ガ出來ルノデハアリマスマイカ、  
サウ云フコトモ吾々ハ考ヘテ茲ニ之ヲ提  
案致シテ居ルハソコデ私ハ安藤警保局長  
ニ——是ハアナタヲ糺弾スル譯デモ何デモ  
アリマセヌガ、アナタハ最近警保局長ニオナ  
リニナツテ、今私共ノ申上ゲルヤウナ實情  
ハ十分ニ御存ジナイ、又從來司法大臣、内  
務大臣ガ行政執行法ヲ犯罪搜査ノ爲ニ濫用  
シテハイケナイト云フ幾多ノ訓令ヲ出シテ  
居ルト云フコトモアナタハ御存ジナカラウト  
思フケレドモ是ハ幾ラ訓令ヲ出シテモ駄目  
デス、效果ガナイ、ソコデ何等カノ方法デ  
打開シナケレバナラヌ、其ノ打開スル途ニ付  
テ一ツ司法當局トモ十分ニ御懇談ノ上デ、  
本當ニ司法警察官ニ對スル一般ノ信用ト云  
フモノヲ繋ギ得ルヤウニ此ノ際考ヘナケレ  
バナラヌ、ダカラ所謂涙ヲ以テ馬謖ヲ斬ル  
位ナコトハ一度ハヤラナケレバナラスト思  
フ、ドウモ此ノ行政處分デハ生温イ、司法  
省ガ之ヲヤラウトルトソレヲヤラレテ  
ハ困ルト言フ、ソレデハ仕方ガナイカラ今  
マデ刑事事件ヲ取扱ツテ居タ者ヲ駐在巡査

ニシ、或ハ交番巡査ニスルト云フ位ナ生温  
イコトデハ駄目ダ、デスカラドレモ是モト云  
フ譯ニハ行キマスマイガ、顯著ナル人權躡  
躡ヲシタ者ニ對シテハ、一遍位ハ涙ヲ振ツテ  
馬談ヲ斬ル位ナ態度ニ出ヌト是ハドウモイ  
カヌト云フコトニナレバ、幾分デモソレヲ  
防止スル效果ガアラウト思フ、ザツクバラ  
ンニ打明ケテ話スノデス、決シテアナタヲ  
糺弾スル譯デハナイ、協力シテ之ヲ防止シ  
タイノデス、松阪刑事局長ガサウ云フ御考  
ヲ十分ニ御持ニナツテ居ルコトハ能ク承知  
シテ居リマス、又濱野參與官ハ在野時代力  
ヲ人權躡躡ノ防止ニ付テ非常ニ心配セラレ  
テ居ルコトハ吾々同様少シモ人後ニ落チナ  
イ猛者デアル、サウ云フ御方ガ司法省ニ居  
ラレル、今マデ餘リ經驗ノナイアナタガ警  
保局長ニオナリニナツタ以上ハ、一ツサウ  
云フ點ニ向ツテ能ク御相談ヲ爲サツテ、十  
分ニ御努力ヲ願ヒタイ、サウシテ之ヲ  
一ツ何トカシヨウデハアリマセヌカ、  
ソレデ犯罪捜査ノ爲ニハ、是レ以外ニ方法  
ハナイノダト云フヤウナ吾々ノ納得ノ行ク  
ヤウナモノガ出來レバ、私共ハソレニ協贊  
ヲ與ヘルコトニ客カデハアリマセヌ、唯  
今マデハ斯ウシテ貴ハナケレバ困ルデハナ  
イカト言フカラ、或ル權限ヲ與ヘマスルト、

其ノ權限ヲ濫用サレル上ニ、尙且ツ今マテ  
ノヤウナ不法ヲソレニ加味シテヤツテ來ラ  
レタ、在野ノ法曹ガ司法警察官或ハ檢事ニ  
ハゾコニアル、刑事訴訟法ノ強制處分ト云  
對シテ直チニ權力ヲ與ヘルコトニ躊躇スルノ  
ハソコニアル、承諾家宅搜査、承諾  
留置ト云フヤウナコトヲサセナイヤウニ、  
十日ノ強制處分ヲ認ヌタ、所ガ其ノ上ニ又  
元ノ通リニヤルモノダカラ、是ハ司法警察  
官ヤ檢事ニハ是レ以上ノ權力ハ持タサレヌ  
ゾト云フコトヲ在野法曹ガ警戒シテ居ルノ  
デアル、又代議士ノ中デモサウ云フコトヲ  
警戒シテ居ル方ガアル所以ハソコニアル、  
サウデハナイ、吾々ハ實際是レダケノ權力  
ヲ與ヘテ吳レレバ、本當ニ將來ハ人權ヲ尊  
重シテ、行政執行法ノ濫用ハ斷ジテシナイ  
ノダト云フ其ノ誠心誠意ガ見エレバ、在野  
ノ法曹デモ、或ハ今日マデ司法警察官ノサ  
ウ云フヤリ方、若クハ檢事ノヤリ方ニ對シ  
テ感情ヲ害シテ居ツタ人デモ冰解シテ、ソ  
レデハサウ云フヤウニシマセウト云フ態度  
ニ出ヨウト私ハ思ヒマスカラ、今各委員諸  
君カラ熱心ニ質問シ、希望ヲ述べマシタコ  
トハ、ソレドヽ主管大臣ニ御報告ノ上、是  
非之ヲ實現スルヤウニ御盡力ヲ御願致シタコ  
イ、ソレダケノコトヲ申上ダマシテ、モウ

○伊藤委員長代理

細カイ具體的ノ事實ヤ糺彈的ニ瓦ルコトハ  
一ツモ申上ガマセヌ、アナタト手ヲ握ツテ  
之ヲ一ツ是正シタイト云フ精神ノアル所ダ  
ケヲ御懇ヘシテ置キマシテ、私ノ質問ヲ終